

平成27年度第2回府中市立図書館サービス検討会議

平成27年10月8日（木）午後2時～
府中市立中央図書館会議室

1. 開 会

2. 議 題

(1) 地区図書館の運営体制について

(2) 第3期府中市子ども読書推進活動計画について

(3) その他

3. 閉 会

<配布資料>

資料1 指定管理者制度導入に関する資料

資料2-1 第3期府中市子ども読書活動推進計画中間報告アンケートの結果

資料2-2 子ども読書活動についてのアンケート結果

資料3-1 広報ふちゅう 新庁舎特別号（第2号）

資料3-2 広報ふちゅう 新庁舎特別号（第3号）

資料（その他）

平成27年度第2回府中市立図書館サービス検討会議議事録

日 時 平成27年10月8日（木）午後2時から3時半
会 場 府中市立中央図書館 5階会議室
出席者 栗田博之委員、茅原幸子委員、夏目雅裕委員、北谷豪委員、
高橋博子委員、大石千鶴委員、渡辺信子委員
欠席者 小島茂委員
事務局 坪井図書館長、田邊サービス係長、佐藤地区図書館担当主査、
菅沼、平野、田代（記録）

議題1 地区図書館の運営体制について

栗田議長 第2回府中市立図書館サービス検討会議を始める。議題については式次第のとおり進行する。最初に地区図書館の運営体制についてである。資料があるのでご覧いただきたい。事務局より説明をお願いします。

事務局 資料1は「指定管理者制度導入に関する資料」である。これは平成24年度第2回図書館サービス検討協議会で同じ議題でご検討いただいた資料の年度を改めたものだ。以前は「現行の府中市の各地区図書館に関しては、指定管理者導入の必要性は感じられない。」ということで意見集約を得た。ただ、その時は文化センターでも指定管理者制度の是非を検討中であったため、地区図書館の複合施設である文化センターの意見が定まってから再度検討することになっていた。その結果は前回お配りした「文化センターあり方検討協議会検討結果報告書」にあるとおり、文化センターは指定管理者制度に向かないという内容である。これを踏まえて今回の比較資料だが、立川市の表右側に「導入済み」とあるのが指定管理を導入した館である。調布市と町田市は導入していない。貸出総数は総じて減少傾向であり、これは指定管理者制度を導入した立川市の地区図書館も同様である。このことから、導入がすなわち貸出総数の増加ではないようだ。指定管理のメリットとしては、民間業者のノウハウを導入することによるサービスの向上、例えば開館時間の延長、柔軟な予算執行によるフレキシブルな現場対応などが考えられる。また、人件費が指定管理全体の委託料に含まれることから、市職員の人件費が削減できる。今回お配りした資料は以上である。最後に地区図書館運営における人件費を、現行の地区館の運営費と中央図書館でPFIをしている業者の参考見積りで比較すると、少なくとも2倍以上指定管理の方がかかるということだ。以上をふまえ、今後の地区図書館の運

営をどうすべきかご意見をいただきたいと思う。よろしくお願ひしたい。

栗田議長 指定管理者制度導入にともなうサービスの向上、予算の削減が可能なのではないかという意見もあることから、引き続き検討をさせていただきたいと思う。新しい委員で背景等不明な点があれば、事務局に質問していただきたい。

高橋委員 人件費が2倍というのは少し驚いた。

事務局 指定管理を導入することで、責任者の配置や市との打ち合わせなどで費用が上がる傾向にある。金額的なことだけでいえば、直営の方が低いけど時間延長などのサービスの部分も考えあわせると、現行の直営の場合ほどどのように手配するか考えなければいけなくなる。

渡辺委員 民間委託にすると市からの管理者等も置かないのか？

事務局 はい。全てにおいて委託になるが、定期的に市との打合せなどは行うようにはなると思う。また、現在の直営の形をそのまま引き継ぐのではなく、来館者が増えるような企画運営も含めた形での委託になるかと思う。

大石委員 指定管理者にするメリットの根拠について疑問に思う。文化センターは地域の子どもたちが過ごしている場所で、文化センターの職員がいるという安心感があると思う。地域を活性化したい、よりよいまちづくりをしていきたいという思いがあって働いている臨時職員などを、大事にしていく市でないかと衰退していくのではないかと。文化センターが人と人とのふれあいの場所であるということ、重く考えていただきたい。また、現場で働いている人の方が予算の使い方など、どうしたら市民の利益になるか肌で感じているところが大きいと思う。人材活用などソフト面で考えたほうが良いのではないかと。そこを議論していくほうが指定管理者制度を議論するよりも有益ではないだろうか。

渡辺委員 時間延長・職員の問題・サービス向上など、ざっくりとした内容になっているようだ。イベント企画でもいいが、例えば時間延長であれば、何時から何時まで何時間増やすのか、など具体的な要望の一つ一つについて検討しないと、漠然とした検討になってしまうのではないかと。そうでないと、指定管理者制度はいいことばかりではないという印象になる。

大石委員 会社勤めをしている人の帰宅時間に開館しているといいと思う。あわせて、私自身が非常に感じているのは祝日の開館をしてほしいということだ。会社が休みの祝日など子どもたちと一緒に利用できると良いと思う。こういったことが開館時間の延長や祝日の開館といった要望につながっていくのではないかと。

栗田議長 開館時間を延長するには人件費等のコストがかかる。しかし財政状況が厳しい中で新たな予算措置は見込めないため、限られた予算内で調整する必要が出てくる。一般的には、そこで指定管理者制度を導入すれば、同じ予算内でサービスも向上し、開館時間も延長できるというような印象が持たれている。しかし、きちんと検討するとそうではなく、やはりサービスを向上させるためには、そ

れなりにコストがかかるという結論になる。当然のことだが、なかなか受け入れられるのは難しいようだ。予算削減されている中でなんとか現状維持しているにも関わらず、各種統計を取るとあまり変化がみられないからだろうか。しかしサービスを向上させるためにはコストを考えてもらわなければいけない。

夏目委員 期待ばかりが大きくなっていて具体性が乏しいような気がする。具体的な試算が出ないと納得させることはできないのではないだろうか。比較対照表の立川市の指定管理を導入した館も特に変化がなく、全体的な減少傾向に抗えていない。やはり時間延長した場合の人件費などの具体的な数字が必要ではないか。数字がないと説得力が足りず、納得させることができないような気がする。

渡辺委員 文化センターの夜間業務はシルバー人材センターで請負っている。時間延長をした場合、本の丁寧な紹介などはできなくても、カードの発行、貸出・返却、本を棚に返す程度であれば、シルバー人材センターの職員で対応できるのではないか。

事務局 雇用主の問題になるが、シルバー人材センターの方は文化センターの事業として雇用しているので、契約にない図書館の業務をお願いするのは難しいかと思う。

栗田議長 業務外のことを実行して、何か問題が発生した時には責任の所在を明確にしなければならぬので、お気持ちはありがたいが、なかなか難しいと思われる。

大石委員 市の予算が妥当ではないので、市民が満足しないのではないかと思う。本当に実現したいのであれば具体的なコストを出した上で、これが市全体の予算に対してどうなのか、市民の要望に対してどうなのか検討すべきではないか。私は妥当な金額になるのではないかと思う。市の姿勢としてこういった市民の切実な要望を吸い上げてほしい。

茅原委員 開館時間を長くするとコストがかかるので、利用者が増えないと理解が得られないのではないか。図書館としても人を呼び込もうという思いがないと、なかなか理解は得られないと思う。この会議の委員は利用が多いと思うが、全体から見ると図書館を利用していない市民のほうが多いだろう。たとえば夜間の利用者として大人を想定した場合、来館するだけの価値を見出せるようにPRしないと難しいのではないか。地区館で実施するならそれなりにPRして市民を呼び込むなど、全体で本気で考えてないと無理ではないだろうか。

北谷委員 時間延長というと毎日実施をするイメージが強いが、はたして時間延長を毎日する必要があるのか。たとえば週に1回だけ時間延長をする代わりに、午前中は開館しないというのも手ではないか。大企業だとノー残業デーが週1日あるので、そういう日に開館するなど工夫ができればと思う。残業なく帰宅すればその日の夜は開館していて、帰りに寄れるということができるのではないか。こういったことは検討してもいいのではないか。

- 栗田議長 就業条件としては問題ないか。
- 事務局 就労条件等を変更すれば可能かもしれない。やはり最初から全館毎日は難しいので、少しずつ予算を増やしていくという方向性にしたいと考えている。
- 栗田議長 サービスの向上は予算を措置してでもやってほしいのが本音だが、必ずしも指定管理者制度がその解決策にはなり得ないようだ。従来結論と大きく変わらないが、これで議題1は終わりたいと思う。

議題2 第3期府中市子ども読書活動推進計画について

- 栗田議長 それでは議題2「第3期府中市子ども読書活動推進計画について」について事務局より説明をお願いします。
- 事務局 中間アンケートについて説明させていただく。平成25年4月から進めている「第3期府中市子ども読書活動推進計画」は、その前年の平成24年度に策定し、その際にアンケートを実施した経緯がある。ここで3期の2年が過ぎたところで子ども読書活動推進連絡会の方で中間アンケートを実施した。調査対象については平成24年度と比較できるように、同様の学校・学年で行った。まだ分析まではできていないが、24年度と今年度を比較しても大きく変化がないような印象だ。今回は数の集計だけになっているが今後分析をして、その結果に伴って図書館・子ども読書推進連絡会など関係部署と調整していきたい。以上、アンケートの報告とさせていただきます。
- 栗田議長 今回の結果は良いのか悪いのか判断が難しいと思う。見方によっては、ある一定のニーズが満たされているとも言えるが、反面うまく取り込めていないとも言える。何かご意見があればお願いしたい。
- 高橋委員 圧倒的に本を買うという方が多い。図書館を離れて、来なくなっているというのは平成24年度アンケートの時点でわかっているので、なぜ来ないのかという項目を追加したほうが良いのではないかと。
- 栗田議長 今後アンケートをする際に、付け加えていただくことはできるのだろうか。申し入れ可能だと思うので、記録しておいてほしい。
- 大石委員 推進活動を行ったおかげで同じレベルの水準が維持できているのではないかと。スマートフォンが子どもたちの間ですごい勢いで普及しているので、本が好きという子どもたちがほぼ変わらずにいるのは、推進活動を頑張ってきた成果ではないか。また、最近は図書館への興味の方向性が視聴覚を借りる場所になりつつあるのではないかと。今の子どもたちは本＝図書館ではなく、視聴覚資料＝図書館という認識があるようだ。視聴覚を使用しているかなどのアンケートをとっても良いのではないかと。

- 栗田議長 今回のアンケートはあくまで読書活動ということで行っているの、図書館のニーズが何か確認する項目があっても良いかもしれない。図書館の利用形態の多様化に伴って、図書館のどこに価値を見出しているかを見るということは、どこにニーズがあるか見ていくことになるのではないか。これによって図書館の利用者にとっての価値が分かるかもしれない。
- 大石委員 「本を読んでもらうのが好きですか」という項目が上がっているのは、ITが普及している中で、本を読んでもらうといった体験に子どもたちが飢えているからではないか。
- 茅原委員 「本を読んでもらうことが好き」という項目が上がったという結果は、小学校のボランティアの方が細々だが、絶やさないようにボランティア活動が続いている結果ではないか。子どもは忙しくて、図書館のおはなし会の時間に行けなかったりする。そのため小学校の教室や放課後におこなったり、イベントでお話会をしている学校もある。本の楽しさを届けたいという図書館養成のボランティア活動と小学校で行われている保護者や地域の人によるボランティア活動が実を結んでいるのではないかと思う。
- 高橋委員 本が「好き」という子どもは50%だが、読んでいるのは1～5冊と少なめだ。これは子どもが読書は好きでも読む時間がないということの表れではないかと思う。
- 大石委員 「子どもの成長に本が欠かせないと思う」と回答した親が予想より多くて驚いた。
- 高橋委員 親の願望が強く入っている気がする。自分が成長していく中で本の大事さを実感しているからではないか。この結果は実際に子どもにどう接しているかというよりは「そうでありたい」ということだと思う。
- 渡辺委員 自分も本を読んで人生が豊かになったからとか、本を読んで得になるからといった理由でも良いような気がする。
- 茅原委員 今の親はまだ本に親しんだ経験のある世代なのかもしれないが、今後は下がってくるかもしれない。
- 北谷委員 私も本をよく読むが、以前は書籍であったが今はスマートフォンで読んでいる。調べ物も同様だ。ただ、いずれにしろ活字は読んでいる。また、おはなし会をユーチューブで流すことはできないのか。そうすれば家にいてもおはなし会をみることができるし、流しておくだけでもいいのではないか。触れる機会を増やして、そこから何か前に進んでいくものがあればと思う。図書館が主体となってそういった試みをして良いのではないかと思う。
- 茅原委員 児童サービスの観点から申し上げると流れているのを聞くのと、肉声を聞く・現場で一体感を味わうというのは違うのではないかと思う。足を運ぶのは大変だが、おはなし会には足を運んでほしい。今そこがまさにジレンマで、どうし

たらしいのかということだ。おっしゃっていることはわかるが、そうであればDVDを借りてきて流すのと同じではないかと思う。ただの読書ではなくその楽しさを手渡す人間がいて、人間同士のコミュニケーションをつくっていこうというのが今の図書館サービスの考え方ではないだろうか。こんなことをやっているのなら足を運ぼうというきっかけづくりとしてはとても有効かと思う。

- 北谷委員 その場で体験することの大切さはとてもわかる。
- 茅原委員 おはなし会の様子として広告のように流すのはいいかなと思う。
- 大石委員 ユーチューブはまだ誰も気づいていない。
- 高橋委員 読み聞かせが大事だという理由の一つは時間の共有が大切なのであって、それにはやはり宣伝活動が重要ではないかと思う。
- 栗田議長 広報としてそういったものを流すのは悪いことではないと思う。現在、府中市はそういった取り組みはしているか。
- 事務局 動画はない。ただ、メール配信サービスを行っているので、活用できるのではないか。
- 高橋委員 広報も音声化しているのだろうか。
- 事務局 ケーブルテレビを視聴できる方だけになるが「まるごと府中」をケーブルテレビで放映している。
- 高橋委員 ご年配の方は文字の大きな見出ししか見てないという人も多い。音声化のサービスもとても良いのではないかと思う。宣伝方法はとても大切だと思う。
- 事務局 今年度の世論調査が出たところなのだが、どこから市の情報を受け取るかという項目の回答は広報ふちゅうがダントツだった。それに迫れるように他に何ができるか考えなければならない。
- 高橋委員 もう少し広報ふちゅうに図書館の情報を載せられないかと思っている。
- 事務局 情報が多すぎて紙面にスペースがなく、見づらくなっているかもしれない。図書館だよりはホームページにも掲載している。
- 大石委員 図書館のホームページは大事だと思う。広告バナーのようなイメージでホームページにもおはなし会の様子などPRできたらよいのではないかと思う。
- 栗田議長 簡単なものでもよければ可能性は十分あるのではないか。
- 大石委員 図書館ホームページから在庫状況が調べられることを知らない人もいる。
- 高橋委員 検索方法はもう少し簡単になればいいと思う。
- 渡辺委員 文字はそのまま入れないと出てこなくて不満である。
- 栗田議長 今回は報告ということだったが、今回議題に上がったことは引き続き検討したいと思う。

議題3 その他について

- 事務局 昨年度図書館満足度調査を行い、予約の取り置き期間について伺った。現行は連絡がついてから10日間となっている。結果は表のとおりである。一方で裏面にあるように予約ベスト10は、火花は異例だが、多くの場合1位は予約500件を超えており、ベスト10に入る資料は少なくとも200件から300件予約がついている。視聴覚も100件前後となっている。予算の問題と適正な資料管理の観点から、予約件数が多いからといって資料をそれに伴い大量に購入することはない。これらをふまえて予約の取置期間を短くすることを検討している。調査の結果と相反するようだが、短くすると予約をして順番を待つ期間が短縮されるのではないか。読みたいときに読める状況にしたいということがあり、我々としては予約取置期間を必ず土日が入るように、1週間+1日の8日間を候補として考えている。平日の地区図書館の開館時間中の利用が難しい場合は、中央図書館が22時まで開館しているので、受取館変更して利用していただければと思う。委員の皆さんには利用者としてのご意見をお伺いしたい。リクエストも増えてきており、お待たせする期間も長くなっている状況から、利用者からももう少し待つ期間が短くならないかという意見もある。率直なご意見をほしい。
- 茅原委員 10日間は長いと思っていた。リクエストした場合はすぐほしいことが多いので妥当だと思う。
- 事務局 10日間とは連絡がついてからの計算だ。メールや電話など何かしら連絡がついてから10日間となっている。
- 大石委員 7開館日にしていただきたい。開館日なら7日間で十分ではないか。
- 事務局 分りづらくて申し訳ないが、実際は現在も開館日で10日間にさせていただいている。
- 栗田議長 実施期間はいつからと予定しているのか。
- 事務局 周知期間は必ず数か月は必要だと考えている。それ以外にも事務手続きが必要だが、早ければ年度内にも始められればと考えている。
- 高橋委員 8日間ではなくて、7日間でもよいのではないか。期間が何日か短くなってどのような影響があるかはやってみないとわからないが、グラフでも多いので7日間でもよいのではと思う。
- 栗田議長 開館日の考え方であれば7日間で大丈夫ではないだろうか。連絡をするときはこういった形で伝えているのか。
- 事務局 何日までと具体的な日にちを伝えている。
- 栗田議長 規定とかそういうものが必要か。なければこのような運用をするということ周知すれば十分だと思う。休館日を除いて対応しているということを実施する

ときに明記しておけば、十分に情報が伝わるのではないか。

渡辺委員 変更の告知をするときの短縮の理由は「広範な市民のニーズに鑑みて」ということとお書きになるのであれば、いいのではないか。ある程度の制限は仕方ないのではないか。

茅原委員 リクエストの取消しの手続きはどうなっているのか。本の提供が不要という連絡が来た時点で取消しになっているのか。

事務局 そのとおりだ。インターネットサービスを利用されている方はネットから手続きいただける。またご連絡いただければその時点でこちらで取消している。

栗田議長 それでは以上でよろしいか。他に何もなければ今回はこれで閉会する。

指定管理者制度導入検討資料

府中市・調布市・立川市・町田市比較資料

平成27年10月8日
府中市サービス検討会議

比較対照表 H27.4.1 現在

基礎資料

	人口(人)	面積(km ²)	蔵書数(冊)	一人当たり(冊)	(参考)H24
府中市	255,346	29.34	1,417,370	5.6	5.2
立川市	179,040	24.38	892,426	5.0	4.8
調布市	227,703	21.53	1,320,145	5.8	5.5
町田市	426,659	71.64	1,082,273	2.5	2.4

府中市

	蔵書数(冊)	H26 貸出総数	H24 貸出総数	(H26)-(H24)
中央図書館	905,083	1,305,550	1,516,432	▲ 210,882
白糸台図書館	53,551	144,838	143,572	1,266
西府図書館	49,146	64,680	73,652	▲ 8,972
武蔵台図書館	49,902	92,773	96,752	▲ 3,979
新町図書館	41,646	63,432	66,950	▲ 3,518
住吉図書館	50,179	127,100	129,442	▲ 2,342
是政図書館	46,859	88,826	93,995	▲ 5,169
紅葉丘図書館	45,041	91,154	89,356	1,798
押立図書館	18,415	15,081	39,582	▲ 24,501
四谷図書館	30,324	55,457	57,890	▲ 2,433
片町図書館	37,736	86,589	84,746	1,843
宮町図書館	36,757	82,041	72,865	9,176
学習センター	52,731	117,893	110,953	6,940
計	1,417,370	2,335,414	2,576,187	▲ 240,773

立川市

	蔵書数(冊)	H26 貸出総数	H24 貸出総数	(H26)-(H24)	
中央図書館	467,141	569,741	615,257	▲ 45,516	
柴崎図書館	25,119	59,489	57,992	1,497	
上砂図書館	69,642	172,266	213,975	▲ 41,709	
幸図書館	23,049	109,477	132,694	▲ 23,217	H22 導入済
西砂図書館	55,705	160,725	164,325	▲ 3,600	H25 導入済
多摩川図書館	82,286	87,151	101,553	▲ 14,402	
高松図書館	47,682	84,304	95,248	▲ 10,944	H25 導入済
錦図書館	65,951	175,479	204,827	▲ 29,348	H22 導入済
若葉図書館	55,851	218,008	225,469	▲ 7,461	H25 導入済
計	892,426	1,636,640	1,811,340	▲ 174,700	

調布市

	蔵書数(冊)	H26 貸出総数	H24 貸出総数	(H26)-(H24)
中央図書館	824,797	1,111,723	1,128,579	▲ 16,856
国領分館	50,132	196,941	190,852	6,089
調和分館	48,526	231,339	231,452	▲ 113
深大寺分館	51,625	173,494	162,892	10,602
神代分館	44,894	169,344	174,498	▲ 5,154
宮の下分館	44,044	137,653	141,980	▲ 4,327
緑ヶ丘分館	47,321	140,644	140,033	611
富士見分館	51,296	94,296	104,937	▲ 10,641
若葉分館	52,401	151,938	144,143	7,795
染地分館	52,721	169,794	186,727	▲ 16,933
佐須分館	52,388	147,193	148,963	▲ 1,770
計	1,320,145	2,724,359	2,755,056	▲ 30,697

町田市

	蔵書数(冊)	H26 貸出総数	H24 貸出総数	(H26)-(H24)
中央図書館	542,455	1,475,353	1,695,112	▲ 219,759
さるびあ図書館	133,099	437,960	529,254	▲ 91,294
鶴川図書館	50,389	245,964	497,412	▲ 251,448
鶴川駅前図書館	88,248	528,991	-	-
金森図書館	132,110	712,079	865,996	▲ 153,917
木曾山崎図書館	61,343	201,822	420,348	▲ 218,526
堺図書館	74,629	207,001	256,596	▲ 49,595
忠生図書館	-	-	-	-
計	1,082,273	3,809,170	4,264,718	▲ 984,539

貸出総数は相互貸借貸出及び障害者サービス用資料を含まない。

*データは平成27年度東京都公立図書館調査による

第 3 期府中市子ども読書活動推進計画中間報告アンケートの結果

1 調査の概要

(1) 調査の目的

平成 25 年 4 月より「第 3 期府中市子ども読書活動推進計画」を施行しているが、前半の 2 年が経過したところで、これまでの子ども読書活動推進計画に基づく事業成果の確認や、子どもの読書環境・読書意識等の現状を把握し、さらに読書活動を推進するための基礎資料として活用するために実施。

(2) 調査対象

保護者

- ① 保健センター（1 歳 6 か月児健診実施時）
- ② 市立幼稚園 3 ヶ所
- ③ 市立保育所 3 ヶ所

保護者と児童・生徒

- ① 市内の公立小学校 4 校（対象 児童 6 年生全クラス（4 校）と全学年の保護者（3 校））
- ② 市内の公立中学校 3 校（対象 生徒 2 年生全クラスと 2 年生の保護者）

生徒

- ① 市内の都立高校 1 校（対象 生徒 2 年生全クラス）

(3) 調査票

- ① 児童・生徒用（小学生・中学生・高校生共通）
- ② 保護者用

※ ①②共に記入し易いように選択設問形式とし、第 3 期計画策定時実施したアンケートとの対比も想定した構成とした。

(4) 調査方法

保護者用調査

保健センターでは、健診受付で調査用紙を配付して、健診終了後に回収する。幼稚園及び保育所、小学校、中学校では、調査用紙を自宅に持ち帰り記入していただき、後日回収する。

児童・生徒用調査

小学校、中学校及び高校では、各クラスごとに実施し回収する。

(5) 調査期間

平成 27 年 7 月

(6) 配付枚数及び回収率

保護者

① 保健センター

保健センター		
配付枚数	回収枚数	回収率
	135	

② 保育所

保育所		
③配付枚数	回収枚数	回収率
325	175	54%

③ 幼稚園

幼稚園		
配付枚数	回収枚数	回収率
260	199	77%

保護者と児童・生徒

① 小学6年生

小学6年生		
配付枚数	回収枚数	回収率
306	291	95%

*保護者回収枚数 749

(兄弟関係の場合は、家庭に1枚の配付。)

② 中学2年生

生徒・中学2年生			保護者・中学2年生		
配付枚数	回収枚数	回収率	配付枚数	回収枚数	回収率
542	513	95%	542	288	53%

生徒

① 高校2年生

高校2年生		
配付枚数	回収枚数	回収率
281	270	96%

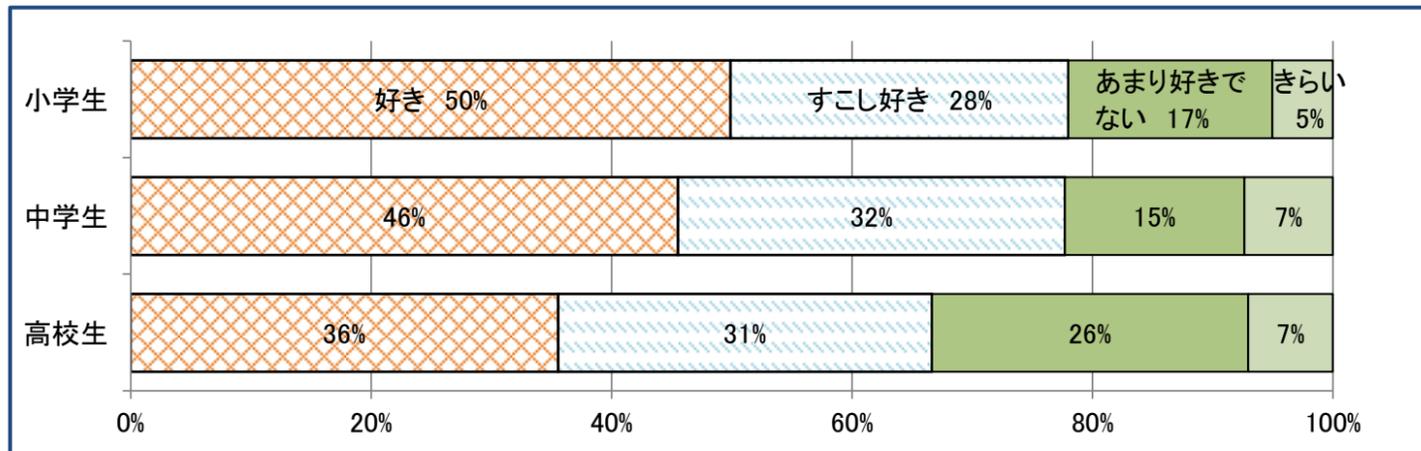
子どもの読書活動についてのアンケート結果

《本への興味》

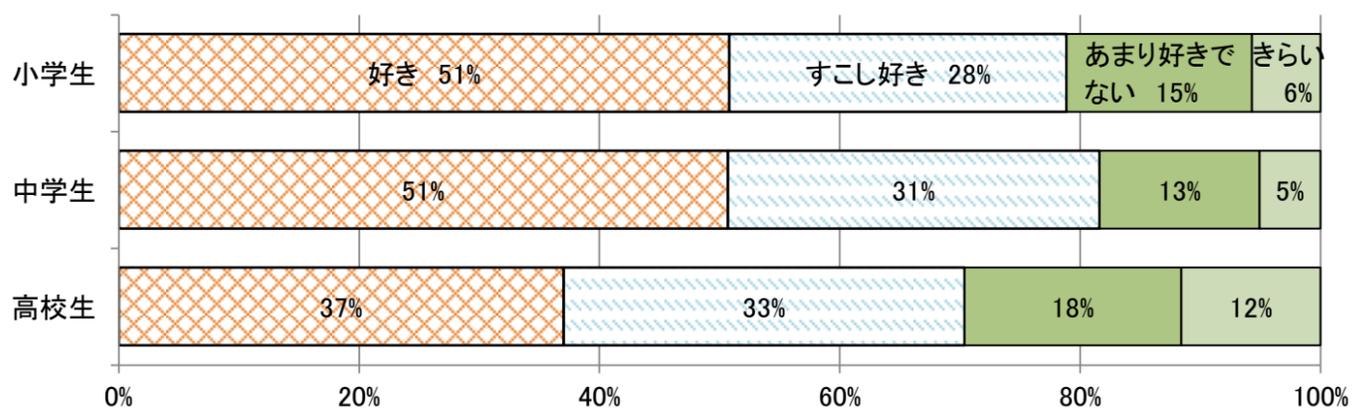
この計画を進めるうえで、現状把握して着目しなければならない取組が、「子どもたちと本との結びつき」といえます。読書と子どもたちとの関わりについて調査します。

① 本を読むことが好きですか？

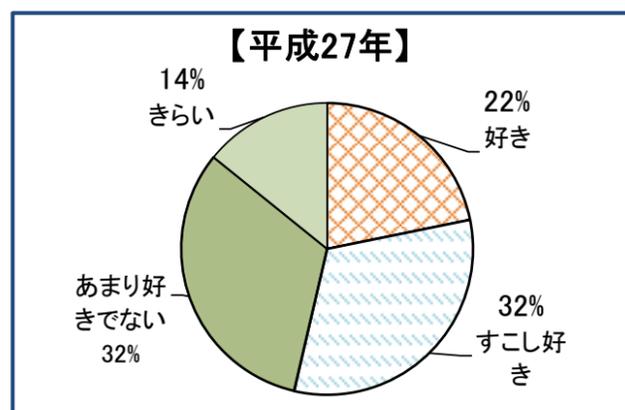
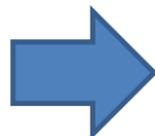
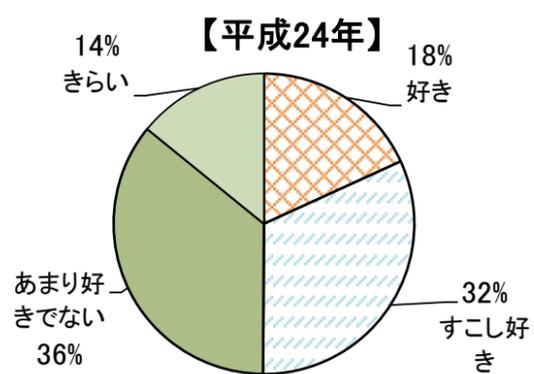
【平成27年】



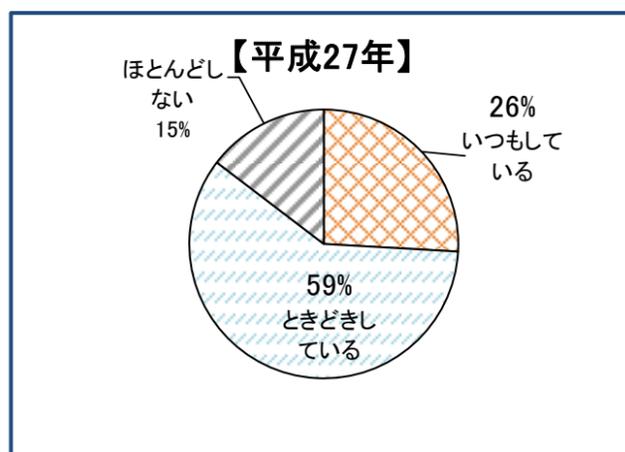
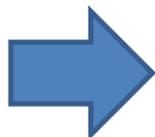
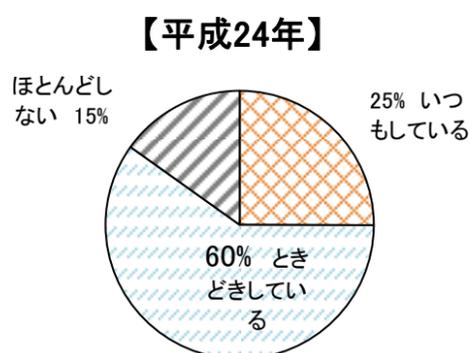
【平成24年調査時】



② 本を読んでもらうことが好きですか？ …小学生



③ 子どもと一緒に本を楽しんでいますか？ …保護者のみ

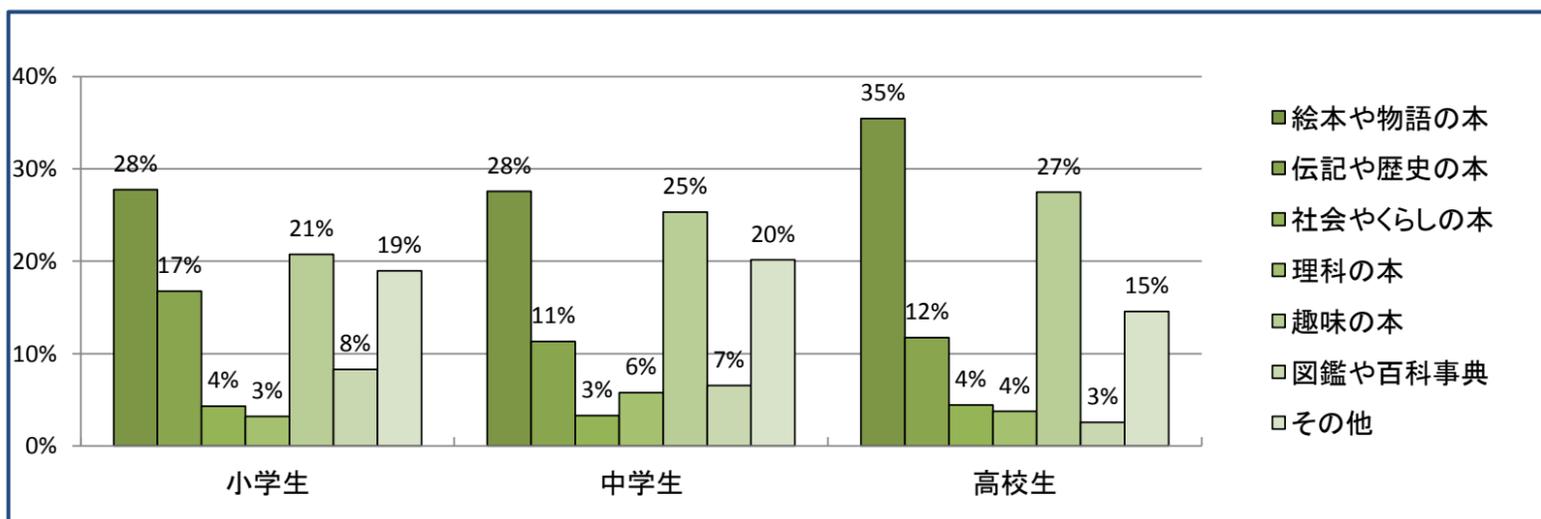


《子どもたちの実態》

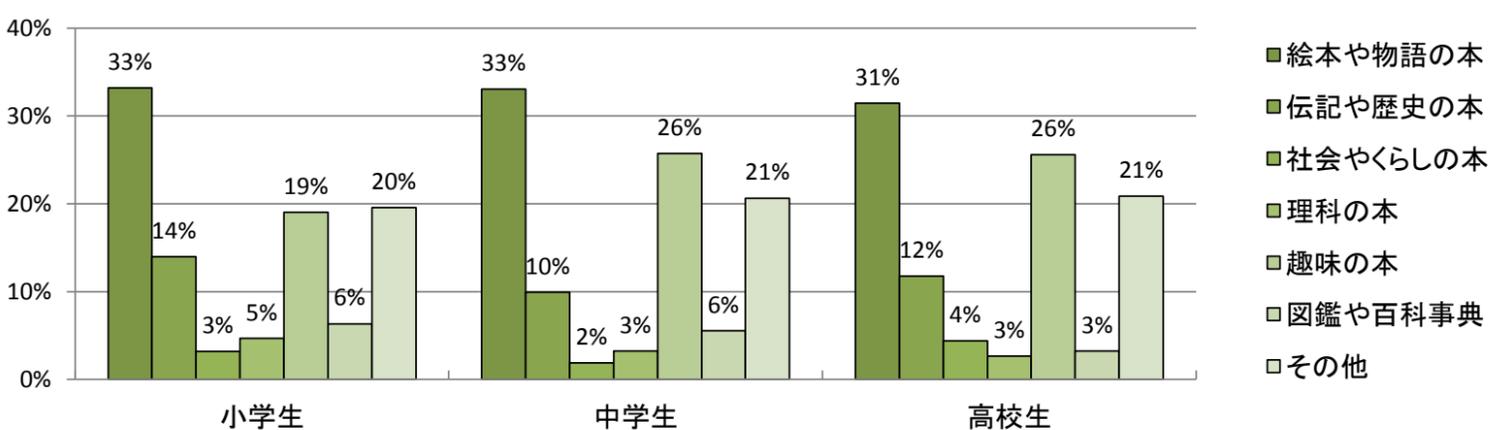
子どもたちの読書に対する考え方や、日常の実態についての調査をしました。

④ どんな本が好きですか？

【平成27年】

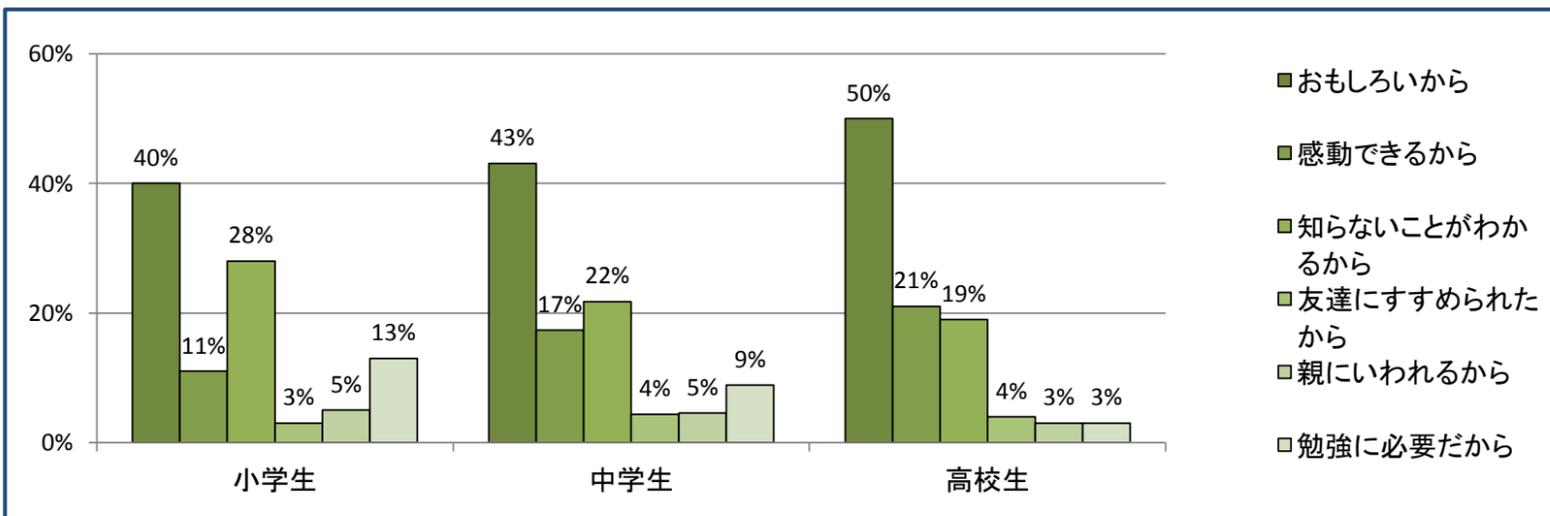


【平成24年調査時】

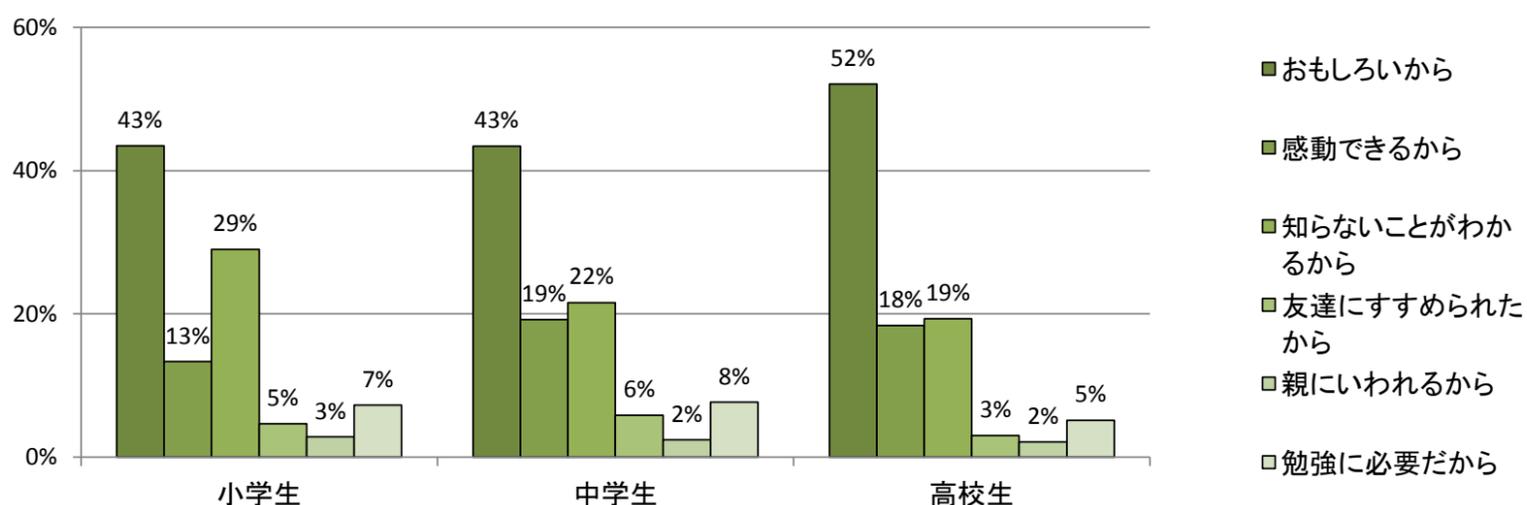


⑤ どうして読むのですか？

【平成27年】

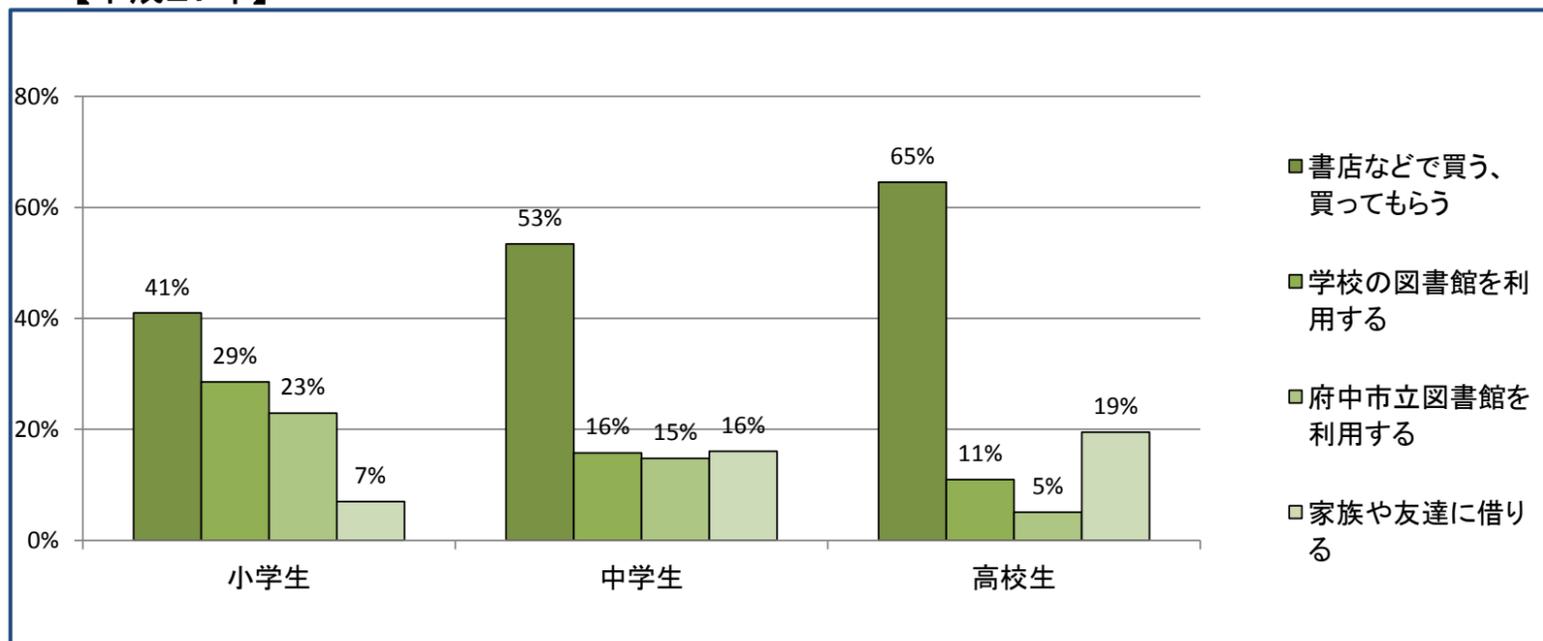


【平成24年調査時】

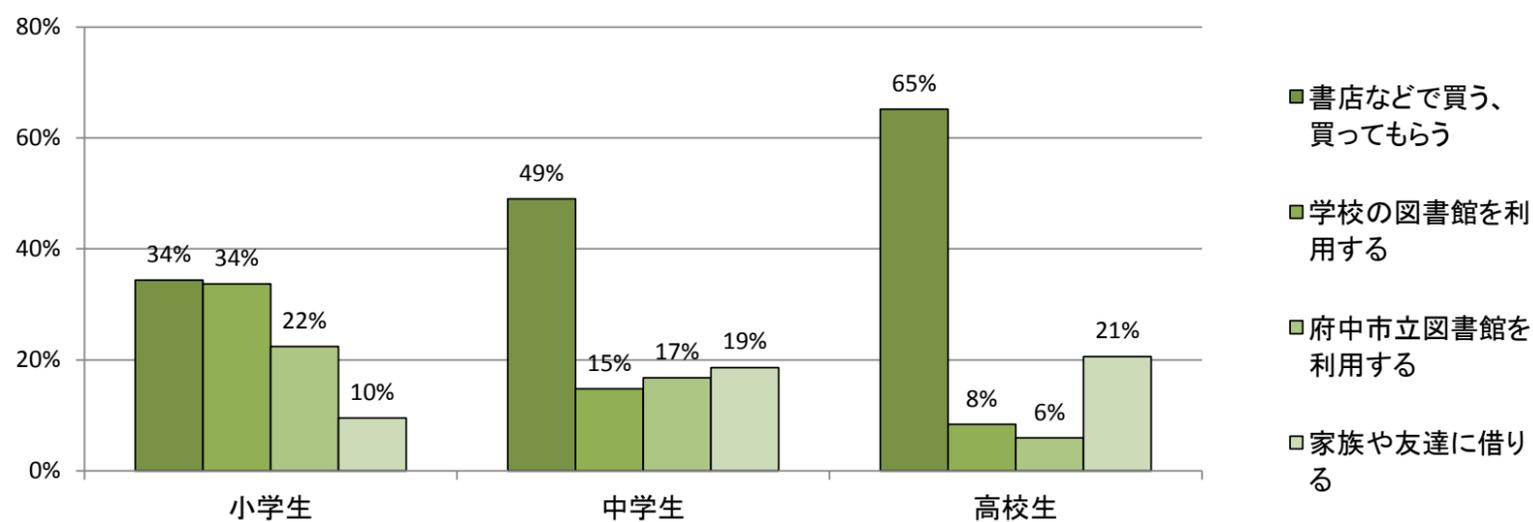


⑥ どのように手に入れますか？

【平成27年】

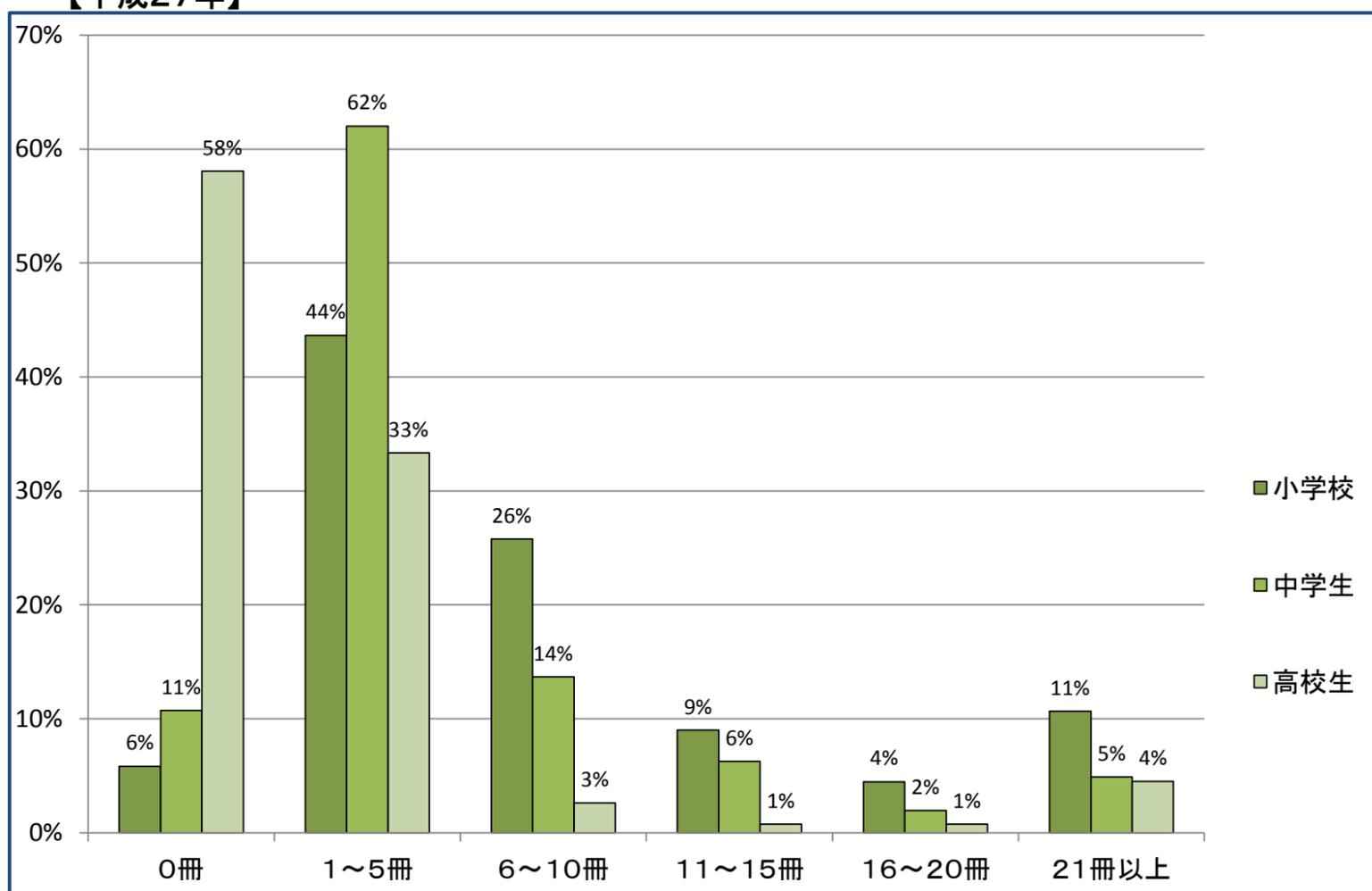


【平成24年調査時】

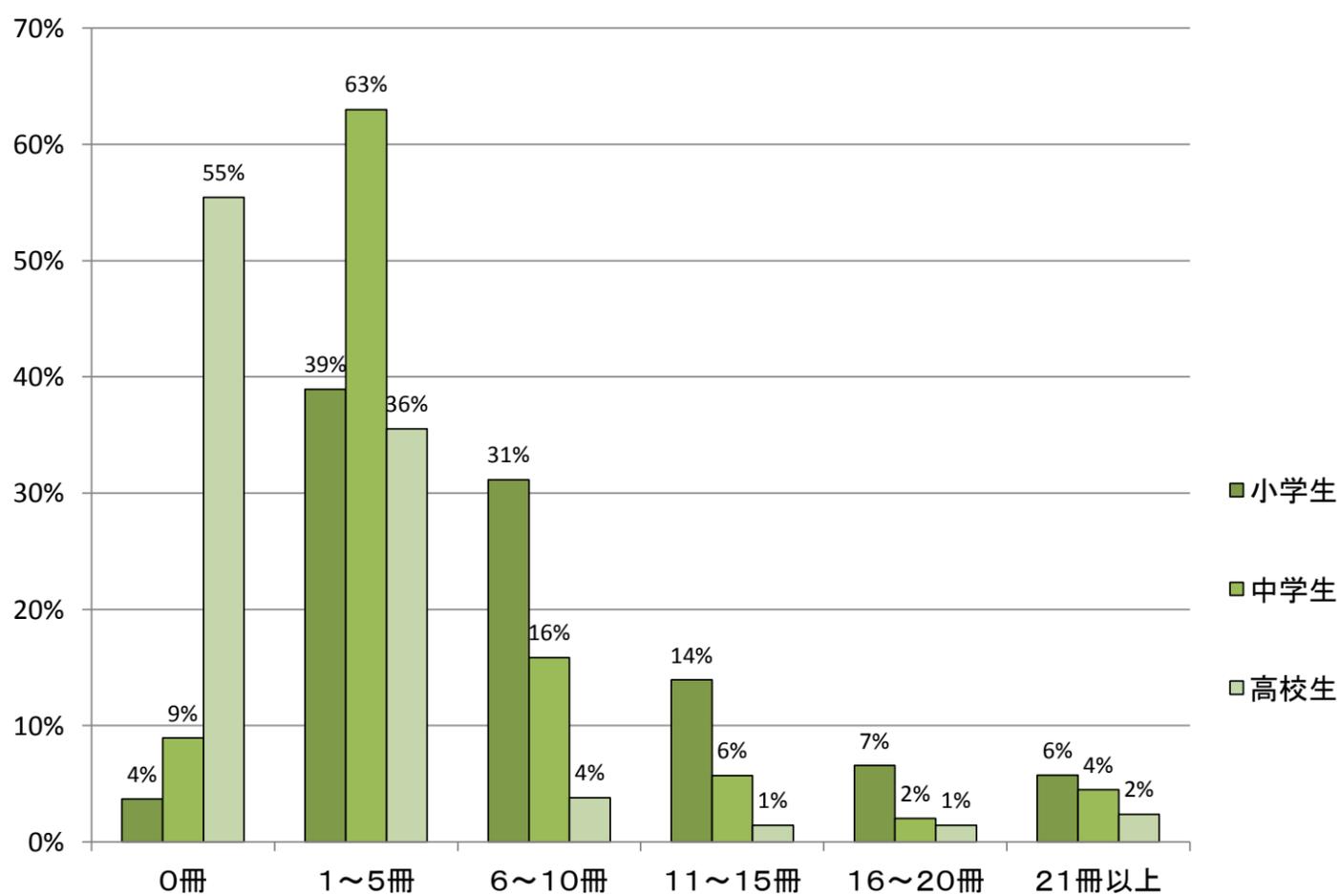


⑦ 6月中に何冊本を読みましたか？

【平成27年】



【平成24年調査時】



《保護者の考える子どもと読書の関係》

保護者は子どもの成長過程の中で、何を必要と考えているのかを調査しました。

⑧ 読書は子どもの成長に欠かせないか？

【平成27年】

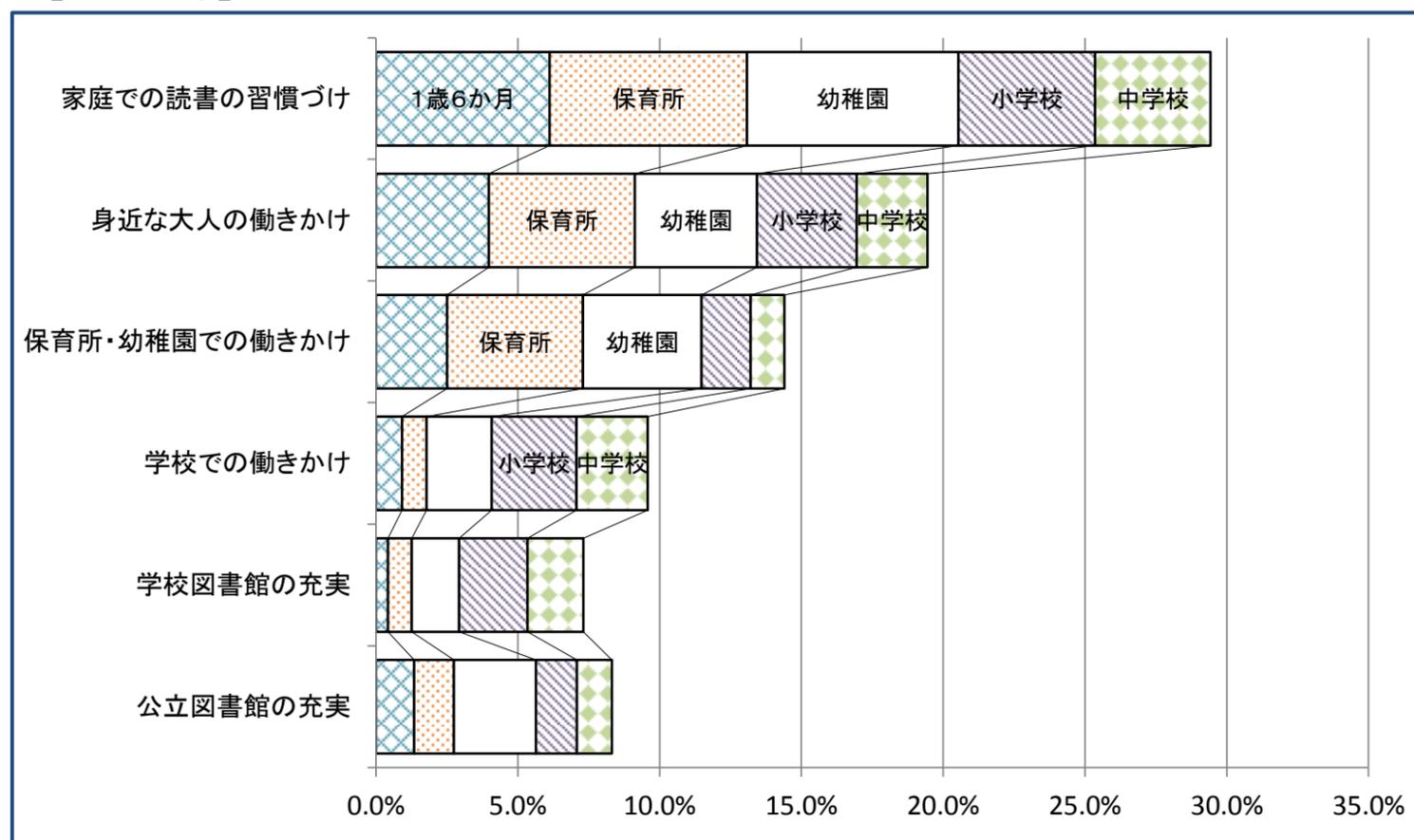
		1歳6か月	保育所	幼稚園	小学校	中学校	計	割合
読書は子どもの成長に 欠かせないか？	思う	131	175	187	719	220	1,432	96.1%
	思わない	0	1	0	3	0	4	0.3%
	どちらとも	4	2	12	27	9	54	3.6%

【平成24年調査時】

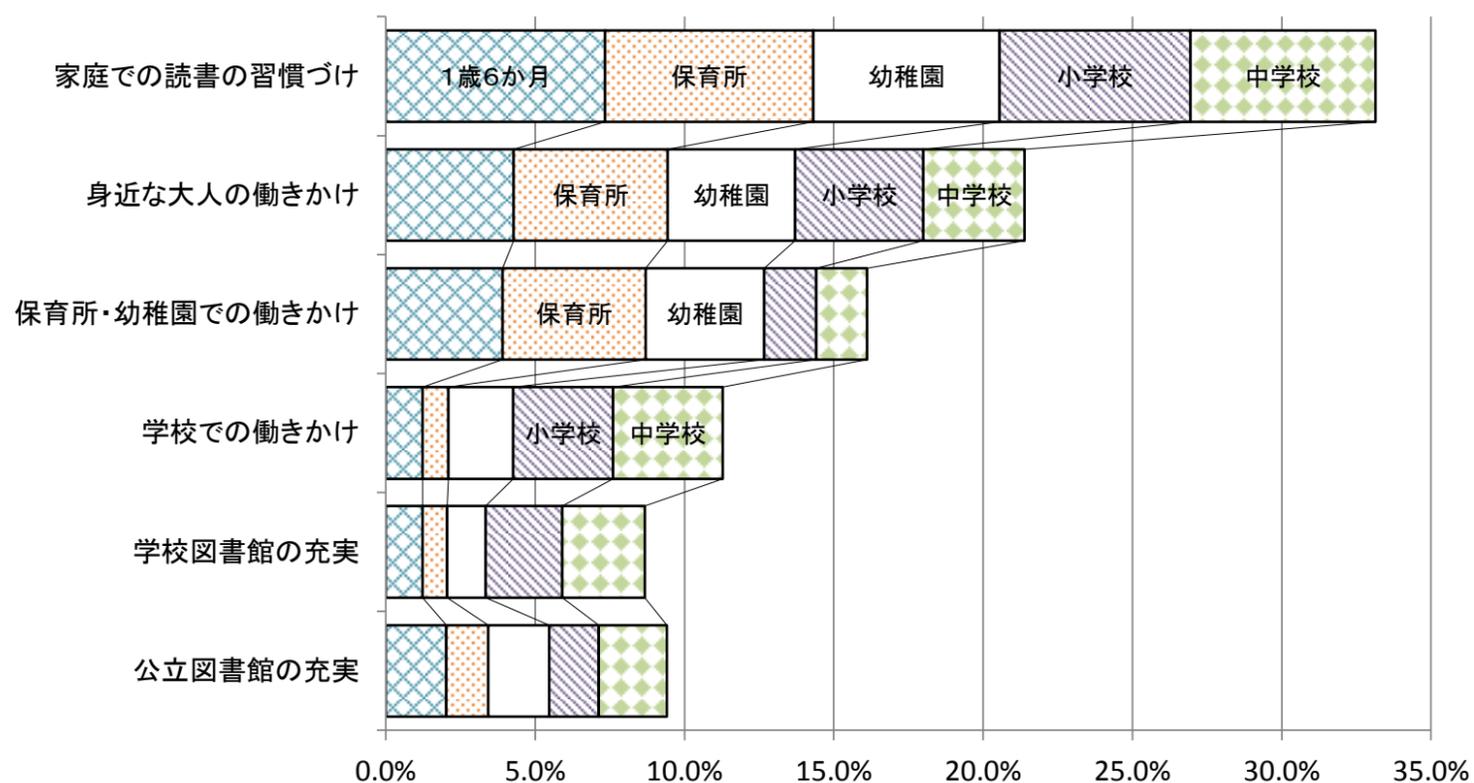
		1歳6か月	保育所	幼稚園	小学校	中学校	計	割合
読書は子どもの成長に 欠かせないか？	思う	127	175	156	803	310	1,571	94.5%
	思わない	0	1	0	1	1	3	0.2%
	どちらとも	3	2	18	44	22	89	5.3%

⑨ 本を読む子どもを育てるために必要なものは？（3つ選択で回答）

【平成27年】



【平成24年調査時】

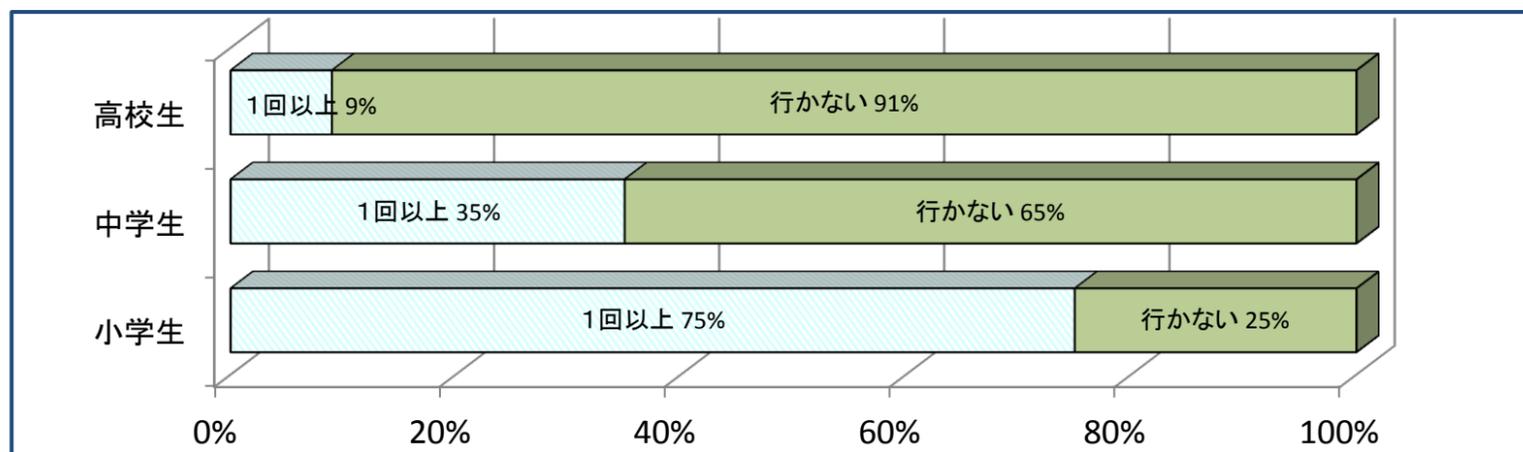


《施設の利用状況》

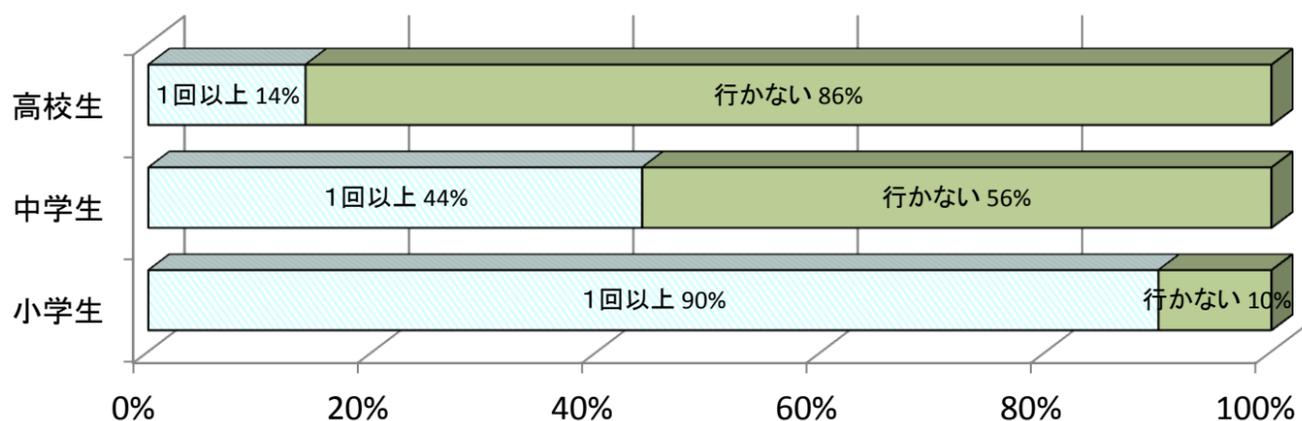
学校図書館、公立図書館など、子どもの読書活動を支援する施設の利用率の向上を図る上で、子どもたちの現状を把握し、その動向を追跡することは欠くことのできない要素といえます。

⑩ 1週間にどのくらい学校の図書室にいきますか？

【平成27年】

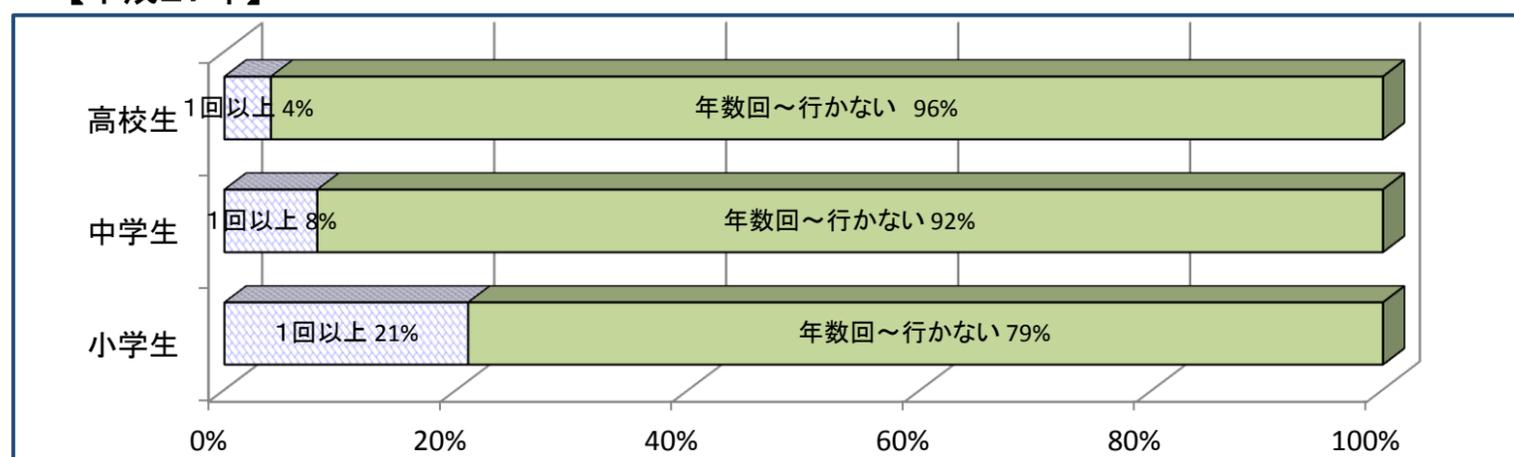


【平成24年調査時】

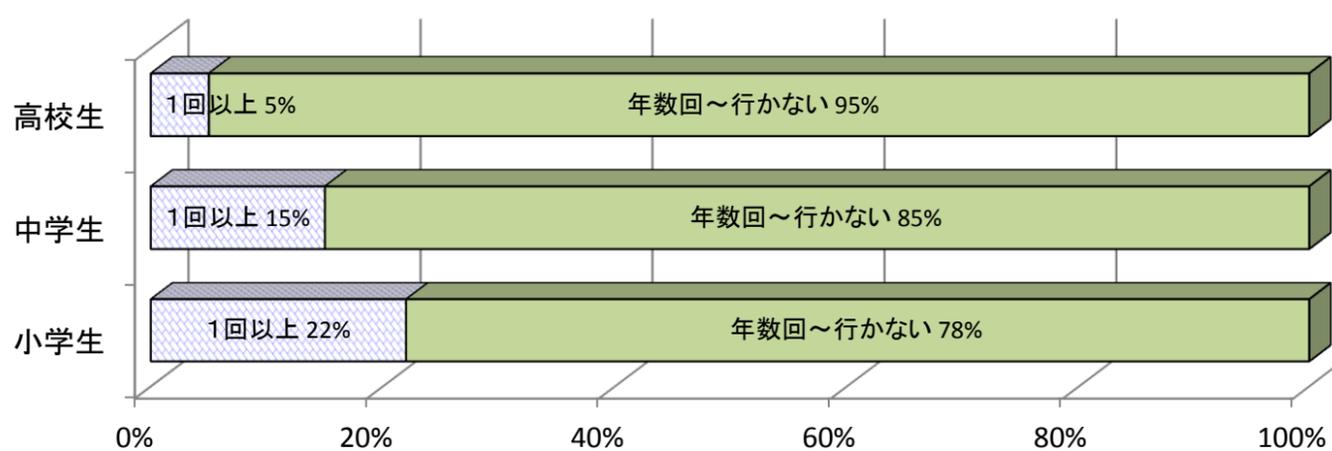


⑪ 1週間にどのくらい府中市立図書館にいきますか？

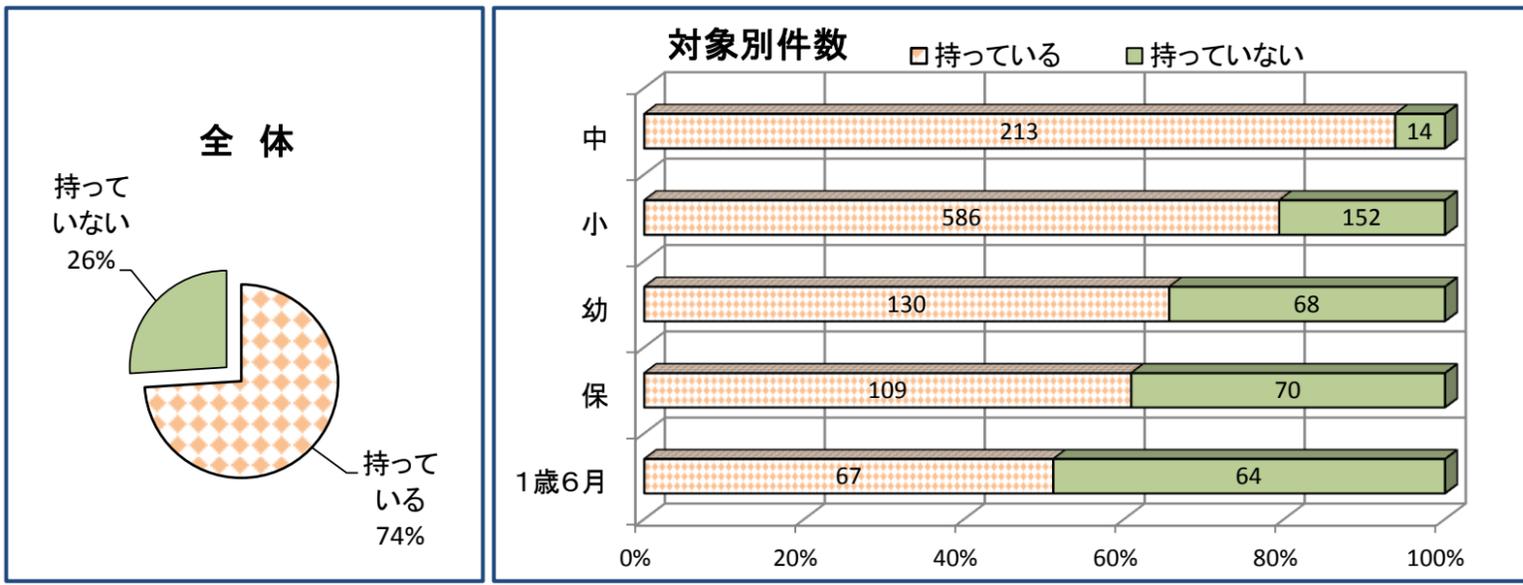
【平成27年】



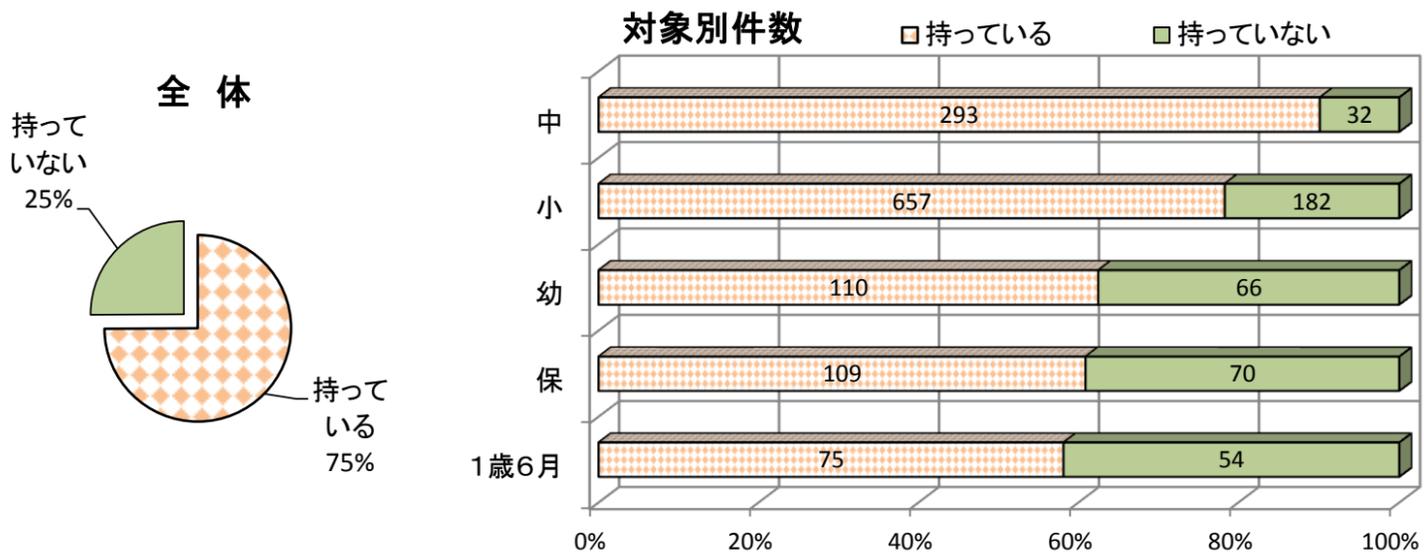
【平成24年調査時】



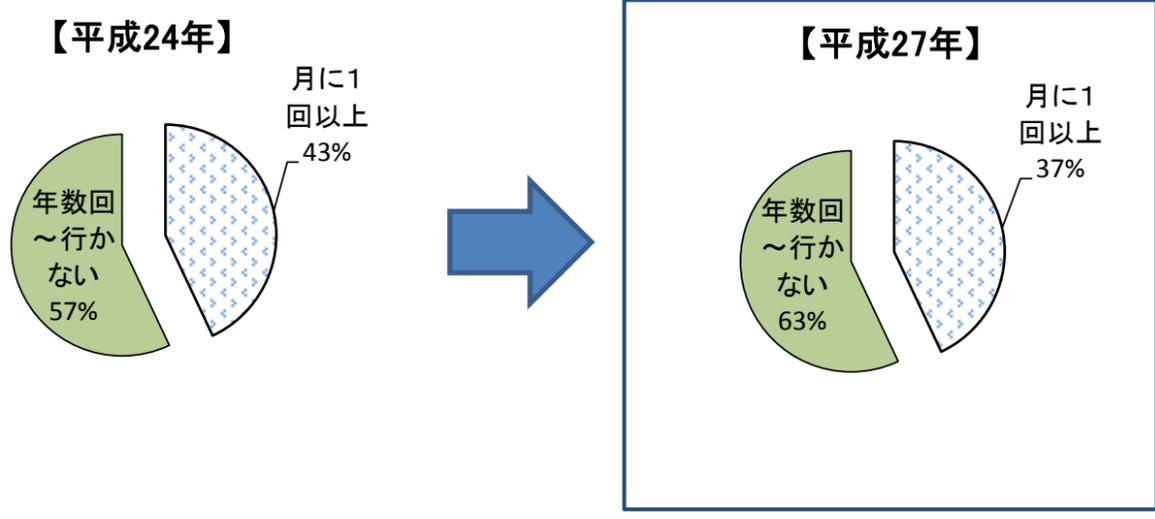
⑫ お子様は府中市立図書館の利用者カードを持っていますか？ …保護者（高校以外）
【平成27年】



【平成24年調査時】



⑬ 府中市立図書館をどのくらいの割合で利用しますか？ …保護者（高校以外）

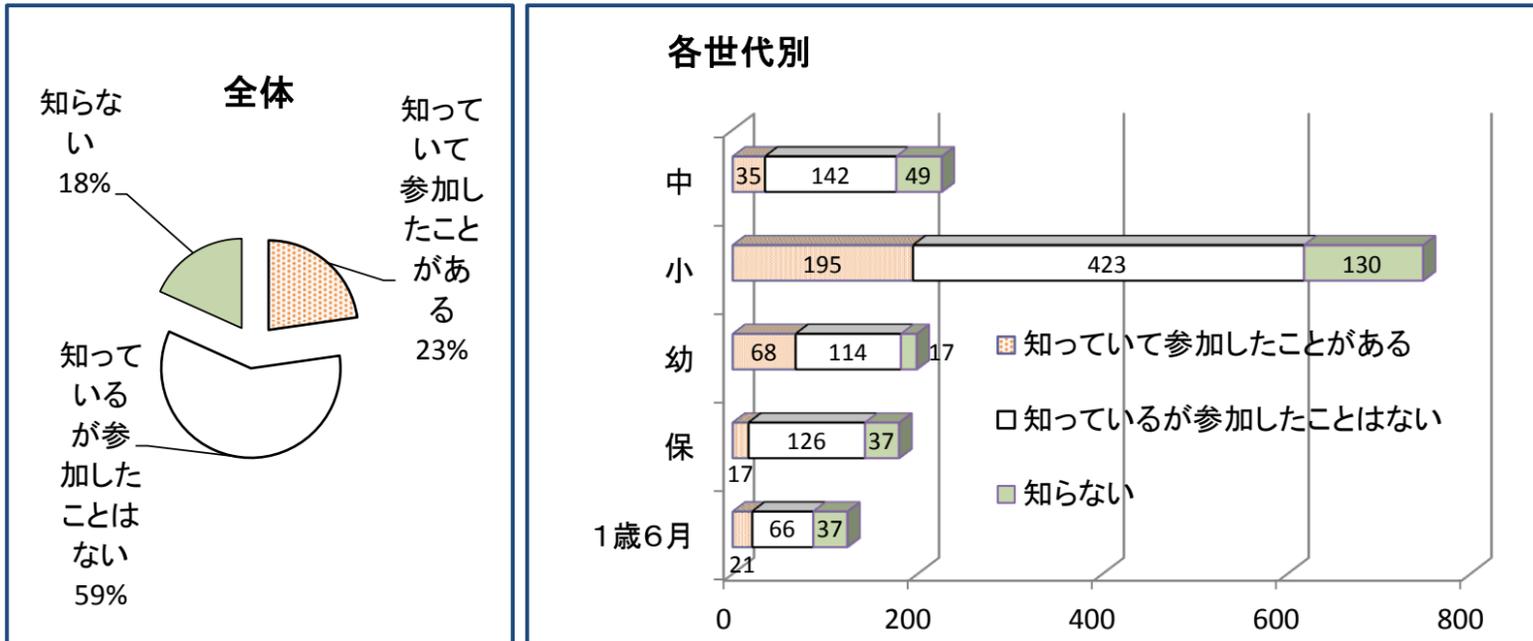


《認知度調査》

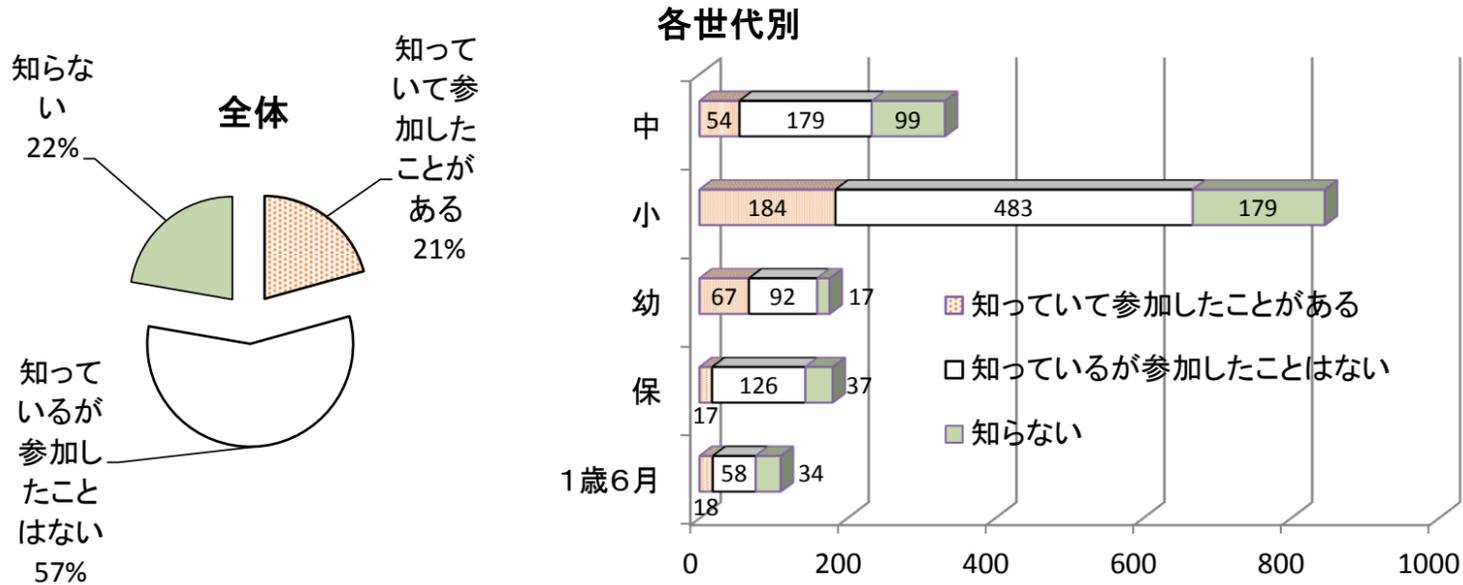
子ども読書活動を推進するのに、子ども向けの事業は数々ありますが、各事業の認知度を調査します。

⑭ 市立図書館で開催する「おはなし会」を知っていますか？ …保護者

【平成27年】

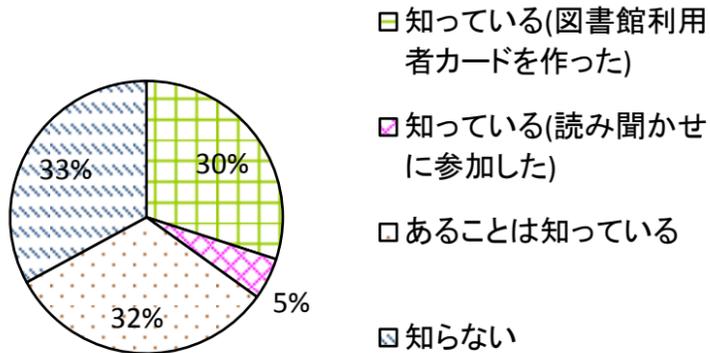


【平成24年調査時】

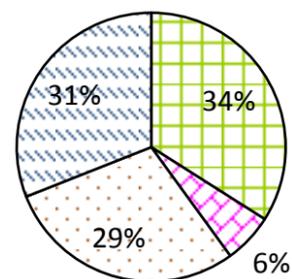


⑮ 「赤ちゃん絵本文庫」を知っていますか？ …保護者

【平成24年】

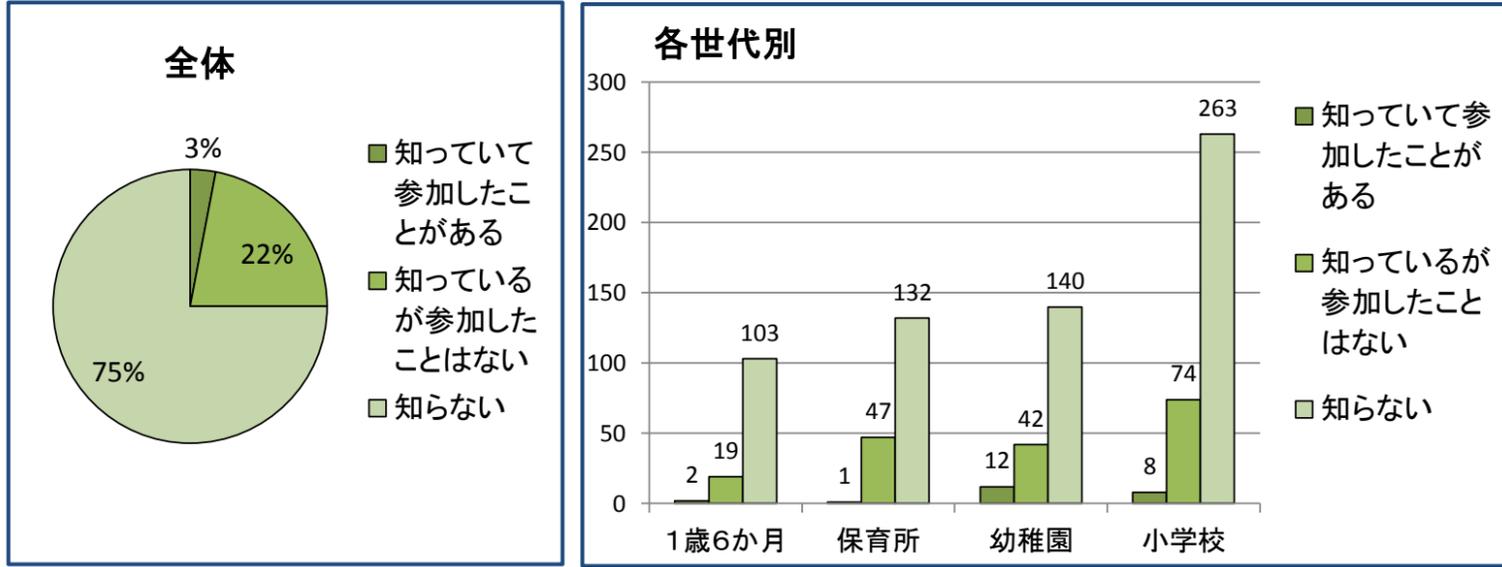


【平成27年】

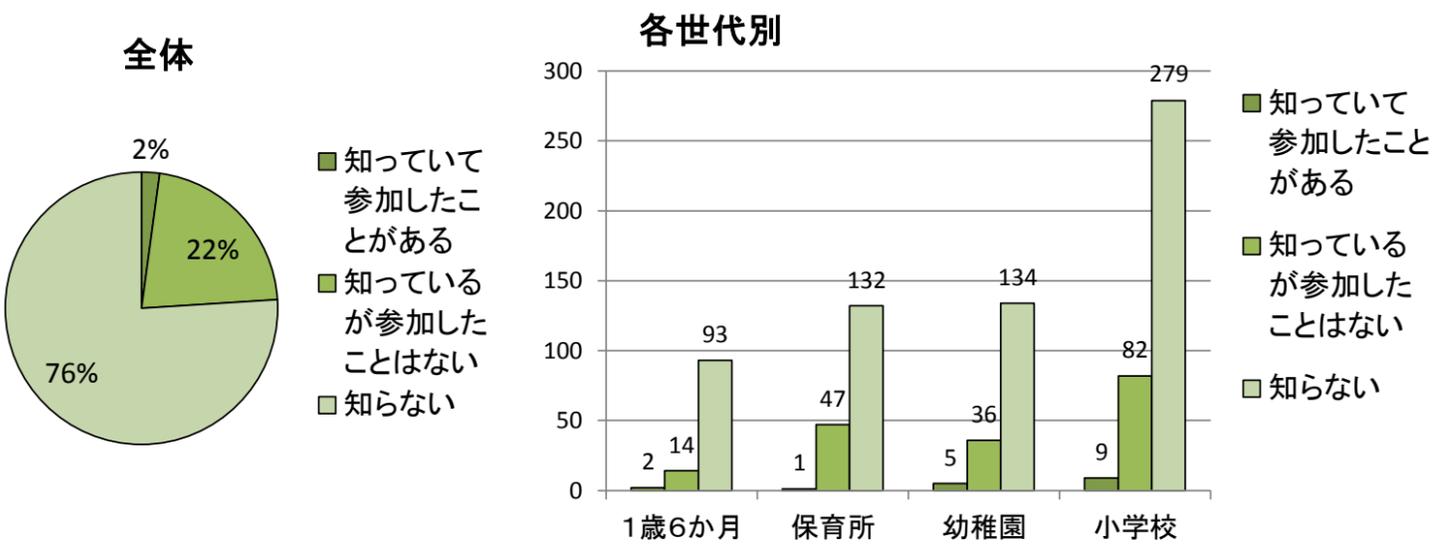


⑩「おはなしキャラバン」を知っていますか？ …保護者

【平成27年】

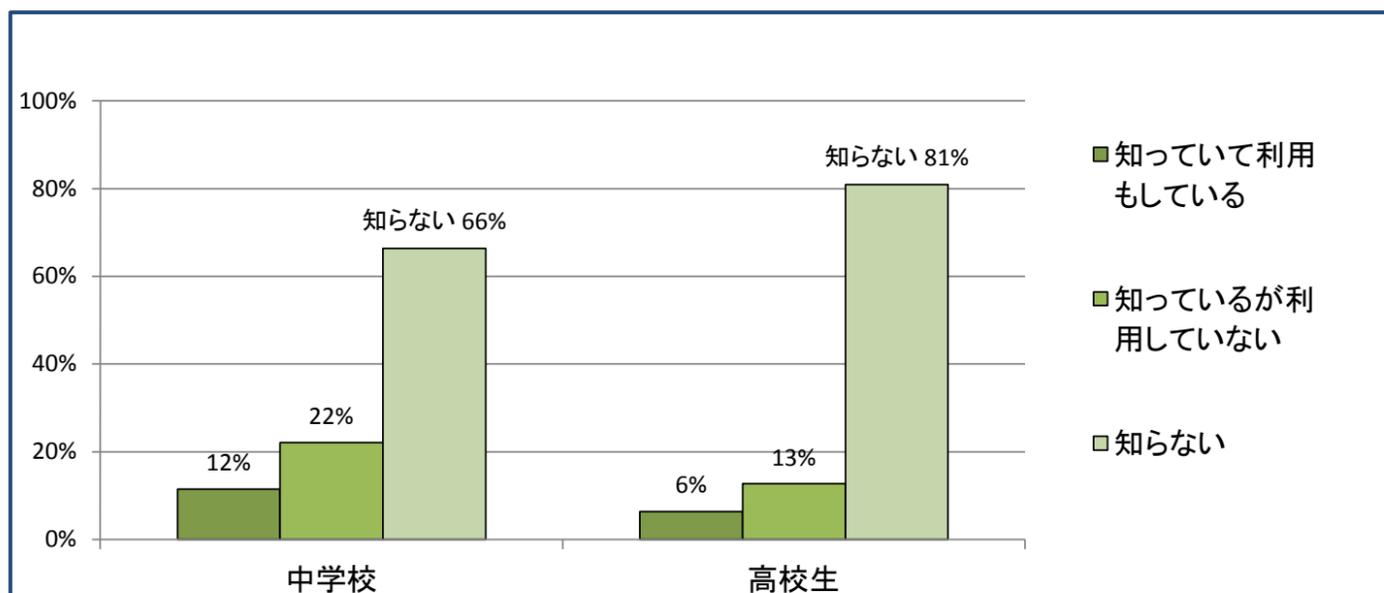


【平成24年調査時】

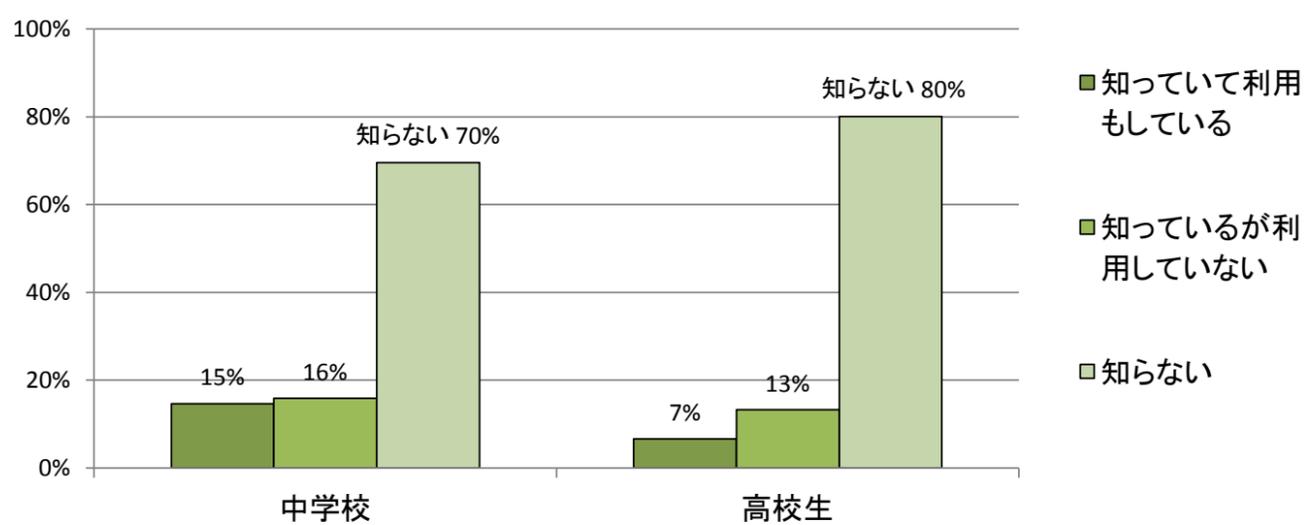


⑰ YAコーナーを知っていますか(中・高のみ)

【平成27年】



【平成24年調査時】



新庁舎特別号

- 〒183-8703(個別郵便番号) 府中市宮西町2の24
- 代表電話 042-364-4111
- 直通電話 042-335-4129
- F A X 042-366-7752
- ホームページ <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>



府中市庁舎建設基本計画を策定しました



このたび、庁舎建設の基本的な考え方を示し、設計に向けた基本的な指針となる府中市庁舎建設基本計画を策定しました。本計画では、耐震性やバリアフリー対応の不足などの現庁舎の課題を解消するほか、府中の歴史や魅力を発信し、京王線府中駅とJR府中本町駅のにぎわいをつなぐ役割として、「市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎」を目指します。

本号では、計画の策定に当たり、パブリック・コメント手続や市民説明会でいただいた主なご意見と市の考えを紹介します。

今後は、本計画に示した市の方針に基づき、設計者の選定や設計作業に取り組んでいきます。

問合せは、政策課庁舎建設担当(335・4129)へ。

基本計画の内容、パブリック・コメント手続でいただいたご意見と市の考え、市民説明会の内容は、市のホームページなどでご覧になれます。

パブリック・コメント手続と市民説明会の実施結果

平成26年12月15日(月)から平成27年1月16日(金)の期間でパブリック・コメント手続を実施し、143人の方から合計397件のご意見をいただきました。

また、本年1月には市民説明会を開催し、基本計画案に関する説明、質疑応答、各テーマ(窓口機能、バリアフリー、環境配慮、防災・災害復興拠点など)に関する意見交換を行いました。

市民説明会の実施結果

日程	場所	参加者数
1月9日(金)	西府文化センター	15人
1月10日(土)	府中市役所本庁舎	23人
1月11日(日)	白糸台文化センター	12人
1月21日(水)	府中市役所本庁舎	7人

※1月21日(水)は聴覚障害者団体向けに実施しました

府中市庁舎建設基本計画の概要

新庁舎の必要性

現在の庁舎は、西庁舎が昭和34年、東庁舎が昭和45年に建設された旧耐震基準に基づく建築物で、一部に耐震基準を満たしていない診断結果が出ています。

このことに加え、施設及び設備の老朽化、高度情報化及びバリアフリー化への対応の限界などの課題を抱えており、市民サービスの低下や行政効率の面でも支障が出始めているため、早急な対応が求められています。

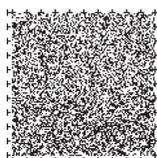
府中らしい個性ある新庁舎

- 〇京王線府中駅とJR府中本町駅のにぎわいをつなぐ庁舎
- 〇市民と行政との協働を支える庁舎
- 〇歴史あるまち、魅力あるまちを発信する庁舎
- 〇水と緑の豊かな空間のある庁舎

基本理念

市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐ
まちづくりの拠点となる庁舎

基本方針	整備方針
市民に親しまれる開かれた庁舎	〇市民サービス向上につながる庁舎の機能 〇市民が集う開かれた庁舎を実現するための機能
環境に配慮した安全な庁舎	〇防災・災害復興拠点機能 〇環境との共生に関する機能
市民サービスのために使いやすい効率的な庁舎	〇ユニバーサルデザインに関する機能 〇行政執務機能及び執務環境に関する機能 〇将来の変化に対応できる機能
まちづくりとの連携を担い、市民が誇りを持てる庁舎	〇市民参加のまちづくりや市民協働を支える機能 〇地域の交流及び発展への貢献



音声コード専用読取装置で、コードの文字情報を音声で聞くことができます。

ご意見と市の考え

概算事業費

市民の声

- 府中駅南口再開発と給食センターの大規模事業も合わせると、市民に大きな負担になるのではないか。
- 手数料の見直しや各種補助金の減額は、新庁舎建設のために行われているのではないか。
- 建設費用が高騰しているため、計画を延ばした方が良い。
- 市庁舎の整備は理解できるが、事業費の縮減に努めてほしい。

市の考え

- 市民の皆さんに負担をかけないよう取り組んでいきます。
- 財源の考え方

手数料や補助金など見直しについては、将来にわたって健全財政を維持し、市民サービスの効果を一層高めるため、市の行財政改革推進プランに基づき、事務事業の見直しの方策のひとつとして行っており、見直しによる効果額を本事業の財源として活用するための取組として行っているものではありません。また、これまでの市民サービスに影響を与えないよう、庁舎建設に係る財源は、基金(貯金)と起債(借入)を活用することを基本的な考えとしています。府中駅南口再開発事業や給食センターの整備事業も同時に進んでいますが、借入額と償還額のバランスを考慮した財政運営に努め、市民サービスの低下につながらないよう取り組んでいきます。

■ オリンピック後の社会情勢

資材や労務単価など建設費用の上昇については、オリンピック終了後に民間企業の開発事業や、国が計画している公共施設整備事業などが動き出す可能性もあり、オリンピックが終了しても建設費用が落ち着く保証がありません。現在の庁舎が抱えている多くの課題が解消されないまま建替えの計画を先延ばしにすることはできないと考えています。

■ 事業費縮減の取組

本事業の概算事業費は合計で約177億円となっていますが、事業費の縮減に向けて、各種補助金の活用に関する調査を進めるほか、新庁舎における売店や駐車場など、民間のノウハウを活用することが可能な施設などを活用した市の歳入確保の仕組みを検討します。

◆ 概算事業費 ◆

項目	金額
新庁舎建設工事費(外構工事費含む)	128.3億円
解体工事費(西庁舎、東庁舎、北庁舎及び付属施設)	8.4億円
仮設庁舎建設工事費(移転費含む)	6.3億円
設計費等(基本・実施設計、工事監理費など)	4.8億円
土地買収関連費	29.3億円
合計	177.1億円

※上記概算事業費には、備品購入費及び埋蔵調査費は含まれていません。
 ※概算事業費は、社会経済情勢の影響により今後変更が生じる可能性があります。

府中らしさ

市民の声

- 府中らしさとはどのように考えているのか、イメージが見えない。
- 府中は歴史があるので、前面に出した方が良い。

市の考え

- 府中市に合った整備を行うことで府中らしさを演出します。

新庁舎の基本理念「市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎」を目指し、庁舎建設基本計画市民検討協議会や職員検討会では、「府中らしさ」をテーマとした議論を通して、また、パブリック・コメント手続でも多くのご意見をいただきました。今後は、こうしたご意見を参考に、設計を進めるなかで「府中らしさ」を具体化していきます。

検討期間

市民の声

- もっと早い段階で市民の意見を聞く場を設けてほしかった。
- 市民の声を聞いて計画するには時間が不足しているのではないか。

市の考え

- 様々な市民の意見を聞く機会を経て検討してきました。

平成22年度に庁舎建設検討協議会を6回、平成25年度に庁舎建設基本計画市民検討協議会を7回、職員検討会を8回開催するなど、市民や学識経験者などを含めて、これまで多くの議論を重ねてきました。また、平成22年度には来庁者アンケートや市政世論調査で庁舎建設に関する項目を追加し、庁舎の課題などについてご意見を伺うとともに、平成23年度に庁舎建設基本構想を策定する際にはパブリック・コメント手続を実施し、幅広くご意見をいただいています。これに加え、市議会の庁舎建設特別委員会でも活発な議論を通して検討を重ねているところです。今後も、必要に応じて市民の皆さんのご意見を聞く機会を設けながら、事業を進めていきます。

新庁舎を望む声

市民の声

- 現在の庁舎は、早急に建替える必要がある。基本計画の耐震技術を全て活用して防災体制に万全を期してほしい。
- 長期にわたり庁舎を大切に維持されてきたことに敬意を、そして、ようやくの建替えに新しい府中の幕開けとしての期待を感じます。
- 市役所の建替え計画を知り、わくわくしています。市民が大満足する庁舎をお願いします。
- 新庁舎を建てるからには、ほかの庁舎の良い所や悪い所を参考にし、すばらしいものを作ってください。応援します。

市の考え

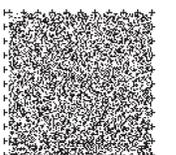
- 現在の庁舎の課題を解消できる、「市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎」を目指し、事業を着実に推進します。

市民の皆さんからいただいたご意見に加え、これまで庁舎建設事業を進めるに当たり、市議会、庁舎建設検討協議会、庁舎建設基本計画市民検討協議会、市民アンケート、関係団体とのヒアリングなどを通して、たくさんのご意見をいただきました。こうしたご意見をもとに、このたび、新庁舎に関する本市の方針となる基本計画を策定することができました。市民と職員に長く愛される庁舎の整備を目指して本事業を着実に推進していきます。

いただいたご意見の基本計画への反映

基本計画(案)に対しては、パブリック・コメント手続を通して多くのご意見をいただきましたが、全体の約8割の方が基本計画(案)の内容そのものに賛成するなど新庁舎整備に関する本市の方針に一定の理解を示している内容だったため、基本計画の内容を大きく修正するものではありませんでした。

今後は、設計業務のなかで、今回寄せられた多くのご意見に加えて、これまでも市民検討協議会などからいただいているご意見を参考に新庁舎の姿を具体化させるよう努めます。引き続き、広報ふちゅう新庁舎特別号などを通して新庁舎整備の進捗状況を市民の皆さんにお知らせします。



市民の皆さんからの

新庁舎の必要性

市民の声

- 耐震性が低い西庁舎だけ建替えれば良い。
- 耐震改修すればまだ使用できる。

市の考え

- 一部の庁舎で耐震性が不足しているため、早急に対応する必要があります。耐震改修で対応した場合でも、短期間のうちに再度建替えを検討しなければいけません。

■現庁舎の課題

現在の庁舎は、耐震性の不足、維持管理費の増大、バリアフリー対応、施設・設備の老朽化、施設の狭あい化及び事務室の分散化の課題を抱えており、市民サービスの低下や行政効率の面でも支障が出ています。特に耐震性の不足については、建物の耐震性能を表す指標(1s値)が一部基準を満たしていないなど、地震に対して危険性があるとの診断結果が示されています。市庁舎は防災・災害復興拠点として機能や設備が停止することなく災害対策の中核的機能を担うべき重要な施設であることから、耐震性を確保するなどの対策を早急に行う必要があります。

■整備手法の検討

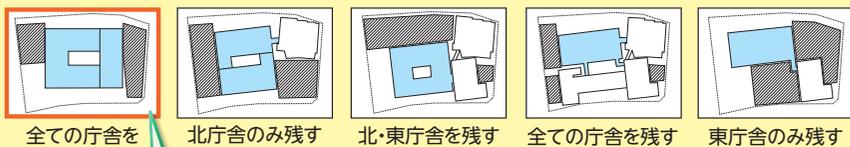
整備の手法として、「現敷地」と「現敷地を拡張した敷地」という大きく2つの前提条件に分けたうえで、既存庁舎(西、東、北庁舎)の有効活用パターンの組替えに応じて10案についての比較検討を行いました。そのなかで耐震改修を行う手法も検討しましたが、耐震改修を行う場合は、建物自体の強度が増すだけで耐用年数が延びるものではありません。そのため、耐震改修を行った後、短期間で建替えの検討が必要になるとともに、現庁舎の課題である施設の狭あい化が更に進むこととなります。建替えを行う場合は、耐震改修を行う場合と単純に比較すると費用がかかりますが、維持管理に係る費用など長い期間で見ると必ずしも費用が高くなるとは限りません。こうした費用的な視点に加え、機能的・環境的視点などを合わせて総合的に検討した結果、現敷地を拡張して全ての庁舎を建替える手法が適切であるとの結論に至っています。

◆整備手法のパターン◆

A 現敷地での建替え



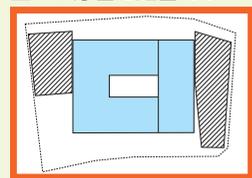
B 敷地を拡張して建替え



※青色部分は新しい建物、白色部分は既存の建物、斜線部分はオープンスペース

敷地を拡張することにより、10案のなかで最も自由度が高く、庁舎整備のあり方を積極的に取り入れることが可能です。新庁舎の想定する耐用年数100年間に係る費用として、既存庁舎の有効利用を図る整備パターンでは、建物の長寿命化を図ったとしても新庁舎より先に建替えが必要になることから、全てを解体する整備手法のほうが費用を抑えられます。

敷地を拡張し、全ての庁舎を建替える



建物の形状はイメージであり、この形状には決まっています。

検討に当たっての評価項目

大項目	中項目
機能的な視点	新庁舎としてのシンボル性
	機能性
	快適性
環境的な視点	まちづくりとの整合性
	周辺環境への影響
	環境配慮
防災的な視点	安全性
施工の視点	施工性
財源的な視点	経済性
法的な視点	法的課題

新庁舎の規模

市民の声

- 規模を最大限とし、住宅や商業施設を併設すべきである。
- 各種機能は地域に分散させ、新庁舎は事務所機能だけで良い。
- 規模が大きすぎる、小さすぎる。

市の考え

- 将来的な行政ニーズを想定した面積を算出します。

■府中市の人口は微増傾向

現在の庁舎の機能は、市役所本庁舎と府中駅北第2庁舎の2箇所に分散し、本庁舎ではさらに西・東・北庁舎に分かれ、申請手続きなどを行う窓口業務の部署の階が異なるため、市民にとって不便な造りとなっています。また、人口推計で今後人口が微増し平成42年度まで26万人以上を維持することや、東京都などからの事務移管の可能性もあることから、その場合の事務量や対応する職員数を想定する必要があります。

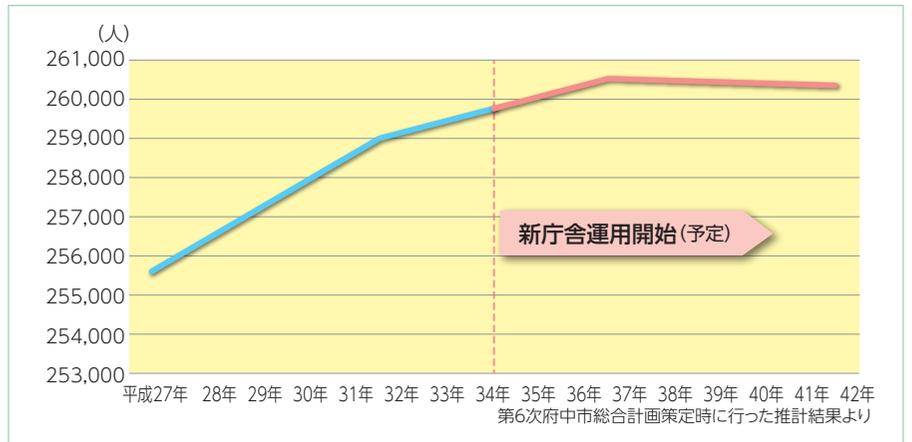
■必要な面積の算出

新庁舎では、関連する業務を行う部署を集約することに加え、将来の行政ニーズを踏まえた面積などを追加した適正な規模を検討します。また、ユニバーサルデザインや市民サービス向上の観点から、来庁者が快適に庁舎を利用できるようにするため、一定の空間やプライバシーに配慮した環境を整備することも必要であることから、今後、具体的な窓口機能などについても検討し、必要な面積を算出していきます。

■周辺環境への配慮

建設予定地の周辺には大國魂神社や多くの住宅などが隣接しています。周辺環境への配慮から、高層な建物など規模の大きなものを建設することは望ましくないと考えています。

◆府中市の人口推計◆



建設予定地

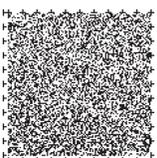
市民の声

- ほかの場所で建替えたほうが良いのではないかと。
- もっと駅の近くが良い。
- 現在の場所が良い。

市の考え

- 費用面、利便性から判断すると現在地が最適となります。

現在の位置は、京王線府中駅とJR府中本町駅から徒歩圏内にあり、府中市の中心部に存在することから、利便性の面では最適であると考えています。また、大國魂神社に隣接して建設用地としてふさわしく便利であるという市民や利用者からの声も非常に多く、市民が参加する検討協議会でも議論されてきました。計画している規模の庁舎を建設することが可能な敷地を別に確保することが費用面からも難しいことから、現在地での建替えとしています。



これらのご意見は設計を進めるなかで参考にします

●窓口機能

- ・もう少し落ち着いて職員と会話ができるスペースがほしい。用件を忘れることがある。
- ・スペースが狭いため、相談していると待っている市民に内容を聞かれてしまう。プライバシーに配慮してほしい。
- ・玄関から窓口まで距離があると大変である。玄関になるべく窓口を近づける工夫も必要。一概にロビーが広いことが良いわけではない。
- ・番号呼び出しのときにモニターをずっと見ていなければいけないので、振動する番号機があれば良い。
- ・窓口の番号案内のなかに「手話通訳必要」や「個人のプライバシーに配慮する必要がある」というボタンもあれば良い。
- ・筆談や手話が少しできる人も来てもらえる環境にしてほしい。

●環境配慮

- ・自然を使い緑化をしながら無理なく省エネに取り組める体制を整えて欲しい。
- ・府中らしい庁舎として、カラマツの間伐材を有効利用するなどして、居心地の良い空間を作ってほしい。
- ・緑と水に加えて花を取り入れてほしい。市内にある都立農業高校や東京農工大学との協働を図ってほしい。
- ・充電ステーションや水素ステーションがあれば、万一のとき発電できる。
- ・風力、太陽光、水力のエネルギーを使ってほしい。

●ユニバーサルデザイン

- ・エレベーターは中が狭く来庁者も多いため、車椅子の人が利用しにくい環境になっている。
- ・子育て関連の部署が5階になっているので、ベビーカーがあるとエレベーターであがらなければいけないので大変である。
- ・車いすだけでなく、点字や外国人の対応の必要性も考慮してほしい。
- ・総合窓口のモニターの映像は、文字解説や手話付きにしてほしい。
- ・腎臓が悪い方やオストメイトの方が利用しやすいだけでもトイレがあると良い。
- ・待合いのいすは手すりがないため、深いいすになると高齢者は立ちあがる際に大変である。
- ・要所で腰をおろせる場所がほしい。

●防災機能

- ・地震以外の大規模災害についても考慮する必要がある。
- ・ライフラインのバックアップを含めた防災拠点としての機能をお願いしたい。
- ・耐震性を含め、今後起こりうる地震に対して、いざというときに活動できる機能は必要である。
- ・免震構造はぜひとも採用し、高層部でも揺れが少ないようにしてほしい。



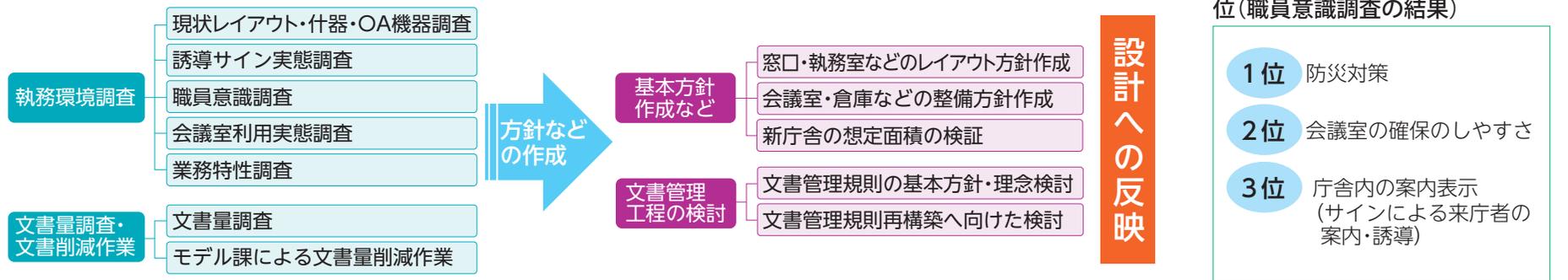
市民説明会の様子

執務環境に関する調査

平成27年度の設計作業に向けて、現在の庁舎の備品や書類などの数量、各部署における会議や業務関連の実態を把握するために執務環境に関する調査を行っています。現在は結果をとりまとめている段階ですが、職員の意識調査では、優先的に改善すべき項目として防災対策が1位となり、多くの

職員が庁舎の安全性に対して不安を抱えながら執務をしています。現在の庁舎の大きな課題の一つである事務室の分散化を解消し、来庁者にとって利用しやすい新庁舎にするとともに、職員にとっても安全安心に効率的で働きやすい庁舎とすることで、市民サービスの向上につなげていきます。

◆方針づくりの流れ◆



●優先的に改善すべき項目の上位3位(職員意識調査の結果)

- 1位 防災対策
- 2位 会議室の確保のしやすさ
- 3位 庁舎内の案内表示(サインによる来庁者の案内・誘導)

事業スケジュール

平成27年4月より、学識経験者などで構成される庁舎建設設計者選定委員会(仮称)を設置し、基本設計・実施設計を行う設計者の選定作業を行います。書類審査やプレゼンテーション審査を経て、7月下旬を目途に設計者の候補者を選定する予定です。

なお、本スケジュールは現時点での条件を踏まえて想定したものであるため、今後設計を進める上で、仮設庁舎を必要としない手法など設計者からの提案などにより、事業工程に変更が生じる可能性があります。

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
基本計画策定	基本計画策定								
埋蔵文化財調査			埋蔵文化財調査						
設計者選定	設計者選定								
基本設計・実施設計	基本設計・実施設計								
仮設庁舎建設			仮設庁舎建設						
施工者選定			施工者選定						
建設工事			建設工事						
外構工事					外構工事				

市民説明会を開催します

説明会は、基本計画の概要、これまでいただいた市民のご意見とそれに対する市の考えの紹介や案内表示、オープンスペースの活用などについての意見交換を概ね1時間半程度で実施する予定です。事前申込みは不要で、どなたでも参加できます。たくさんのご参加をお待ちしています。

日程	開始時間	場所
3月27日(金)	午後6時半	スクエア21・女性センター会議室
3月28日(土)	午後2時	府中市役所北庁舎3階会議室
3月29日(日)	午前10時	生涯学習センター3階研修室

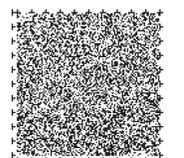
※当日は、開始時間の30分前から受付を行います。
※スクエア21・女性センター及び生涯学習センターは、お車でお越しの場合に駐車場代がかかります。

ご意見をお寄せください

平成27年度より設計が始まるに当たって、設計者に求める条件や新庁舎に必要なだと考える機能などについてご意見を募集します。なお、いただいたご意見に対して個別には回答はしませんが、今後設計を進めるなかで参考にさせていただきます。

提出方法
住所・氏名・意見を記入し、郵送、FAX、Eメール、持参などによりご提出ください。

提出・問合せ先
〒183-8703 府中市宮西町2の24
府中市役所政策総務部政策課庁舎建設担当
電話(335・4129) FAX(366・7752)
Eメール(chousya01@city.fuchu.tokyo.jp)
※3月30日(月)から事務室が東庁舎4階に変更になります。



新庁舎特別号

- 〒183-8703 (個別郵便番号) 府中市宮西町2の24
- 代表電話 042-364-4111
- 直通電話 042-335-4129
- F A X 042-366-7752
- ホームページ <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>



新庁舎のイメージ 府中街道から通り庭を見る ※あくまで提案内容であり、内容は変更となる可能性があります。

新庁舎の設計者が 決まりました

市では、平成27年4月から7月に府中市新庁舎建設設計者選定委員会を開催し、新庁舎の基本・実施設計を行う設計者として、「千葉学建築計画事務所・久米設計設計共同体」を選定しました。本号では、設計者の提案内容や選定までの過程、並びに審査講評などを紹介します。

今後は、「市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎」の実現に向け、設計作業を進めながら、具体的な機能や構造などを検討していきます。

問合せは、政策課庁舎建設担当(335・4129)へ。

設計者選定までの流れ

新庁舎の基本・実施設計業務を委託するに当たり、柔軟で高度な発想力や設計能力、豊富な経験を持つ設計者を選定するため、学識経験者や副市長で構成される選定委員会を設置し、公募型プロポーザル方式により設計者を募集しました。4月14日に開催した第1回選定委員会では、これまで市民の皆さんなどからいただいたご意見を参考に、市が求める設計者としての条件を定め、提案内容のテーマを設定する募集要項を作成しました。

4月16日から約2か月の提案書の募集期間を経て、参加申込のあった39者のうち33者より提案書が提出され、仮設庁舎の有・無、高層・低層など様々な提案が出されました。

1次審査(7月6日)

第2回選定委員会を開催し、1次審査を行いました。1次審査では、提案書を提出した33者について、提案の企画力、合目的性及び実現性、実施方法やスケジュール、実施体制、提案者の説得力、知識及び支援能力などの評価基準に基づき総合的な評価を行いました。

選定に当たっては、各委員が評価項目に基づき投票し、投票した提案に対して各委員が意見交換を行いました。投票と議論を繰り返し行い、活発な議論と厳正な審査の結果、1次審査通過者として5者を選定しました。

10月11日(日)にルミエール府中で新庁舎建設シンポジウムを開催します。詳しくは4ページをご覧ください

2次審査(7月26日)

第3回選定委員会を開催し、2次審査の一環として提案者によるプレゼンテーションと選定委員による質疑を公開で実施し、非公開で最終審査を行いました。2次審査では、工期を含む建替計画のより詳細な考え方や建築物の外観、外装材の考え方、コスト縮減に対する考え方などの評価も行いました。

最終審査では、公開プレゼンテーションを踏まえ、総合的な評価を行い、各委員による投票のうえ、最優秀者、優秀者、佳作を選定しました。

◆2次(最終)審査結果◆

最優秀者	千葉学建築計画事務所・久米設計設計共同体
優秀者	NASCA
佳作 ※受付番号順	アトリエ・アンド・アイ、野沢正光建築工房設計共同体
	デネフェス・オンデザイン設計共同体
	隈・安井設計共同体

プロポーザル方式とは

プロポーザル方式は、最も優れた設計案を選ぶ設計競技(コンペ)方式とは異なり、最も適した設計者を選定するものです。新庁舎の具体的な設計・デザイン案は、今回選定された設計者と協議して決定していきます。

設計者のプロフィール



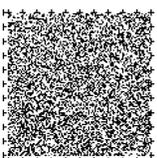
上田克行氏
(久米設計)

新庁舎の設計総括責任者。株式会社久米設計設計本部第5建築設計部統括部長。BCS賞・都市景観大賞(高崎シティホール)、日本建築家協会優秀建築選選出・まちづくりグリーンリボン賞(水戸泉町1丁目南地区再開発)ほか受賞。

千葉 学氏 (千葉学建築計画事務所)



新庁舎の設計意匠担当責任者。東京大学大学院教授で、株式会社千葉学建築計画事務所デザイン統括。日本建築学会賞(日本盲導犬総合センター)、ユネスコ功績賞(大多喜町役場)、村野藤吾賞(工学院大学)ほか多数受賞。



る 設計者の提案内容

※この内容はあくまで提案内容であり、内容は変更となる可能性があります。

建物の外観・外装材

■府中のまちに馴染み、人々の活動があふれる外観

周辺地域に配慮した、穏やかなボリューム配置の庁舎とする。「おもや」は北側住宅地への影響を抑えるため低いボリュームで計画し、「はなれ」についても低層でかつ大國魂神社側に引きを取ることで、地域の資産である神社との親和性に配慮する。

「通り庭」の随所に張り出す軒裏は全て木板貼りとし、かつての府中宿の趣を「通り庭」にもたらし。軒裏や室内など、経年劣化の影響を受けにくい箇所のみ木材を使用することで、府中の豊かな自然を映し出した外観は将来にわたって維持される。

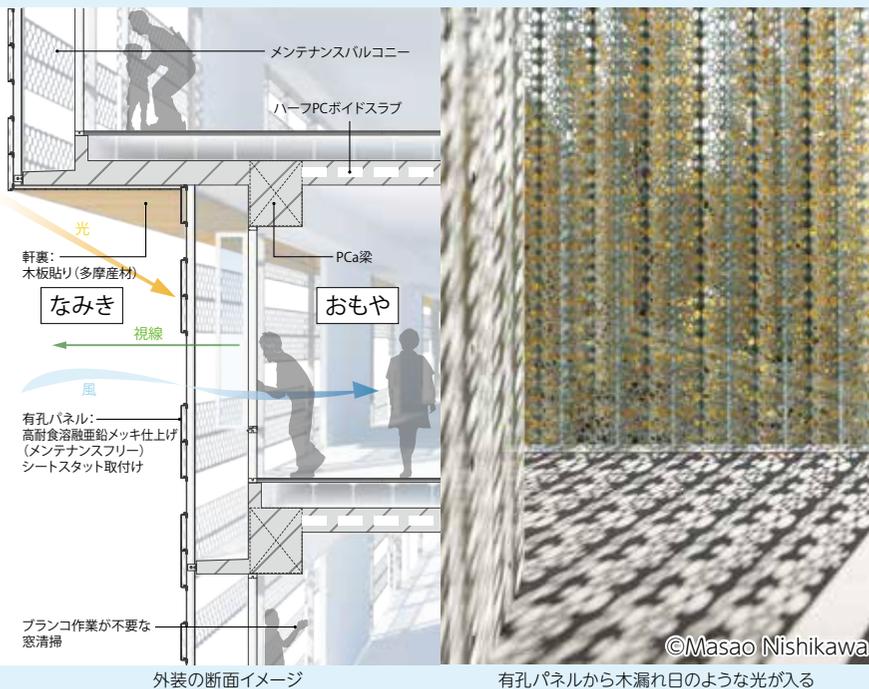


1階平面図



東側(大國魂神社)からみた景観イメージ

有孔パネルの活用



外装の断面イメージ

有孔パネルから木漏れ日のような光が入る

■周辺環境に呼応する有孔パネルによる外装

庁舎の外装は孔がけられたスチールパネルによって覆う。「通り庭」を歩くと有孔パネル越しに庁舎内の様々な活動が見え隠れし、府中らしい多彩な活動に出会える。室内は有孔パネル越しに届く木漏れ日のような光に満たされ、府中に特徴的なけやき並木の下を歩く心地よさを感じることができる。

有孔パネルは、庁舎からの視線や光漏れを適度に遮蔽するため、近隣建物のプライバシーへの配慮にも効果的。設置密度を北側の住宅地側は高く、景色の良い神社の緑地側は低くし、開口率も場所ごとに調整するなど、近隣とも親和性の高い計画とする。

■良好な室内環境を生み出す有孔パネル

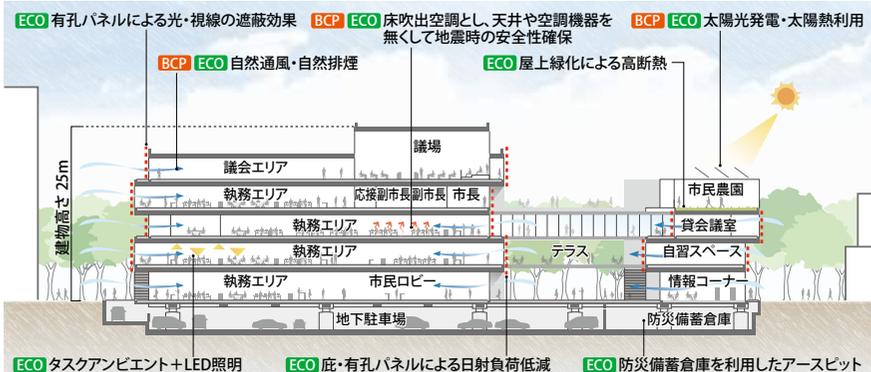
屋外に日除け効果のある有孔パネルを設置することは、室内のブラインドやカーテンよりも遥かに省エネルギーに効果があり、特に西側に面した箇所が西日で暑くなることを回避する。具体的には室温に近い温度まで下がるので、窓面からの不快な温風射が抑えられる。

有孔パネルの内側は、ガラスと壁を適切に配置して熱負荷を抑え、ガラス部分には換気や排煙のための窓を設置し、自然エネルギーを最大限に活用した計画とする。

コスト削減などに対する考え方

■まち、自然と共生する環境計画

敷地周辺のビル風を抑え、敷地内に風の道をつくり、環境面でも敷地周辺の街並みに溶け込む作りとする。環境に与える負荷やライフサイクルコストを低減するための手法を適材適所に駆使する。自然の光や風を上手に取り込み、一年を通して少ないエネルギーで良好な室内温熱環境・光環境を構築する。



■バランスの良いコスト圧縮方法

- 仮設庁舎を必要としない建替計画
- 柱頭免震の採用による地下掘削量の最小化
- 直接基礎による杭中止
- 既存地下躯体解体範囲の削減
- 低層型庁舎による面積効率化
- 上部構造をプレキャスト化
- 外装材、サッシの規格化・工業化・ユニット化
- 天井を極力貼らないことによるコスト削減
- 豊かな経験に基づいた確実なコストコントロール

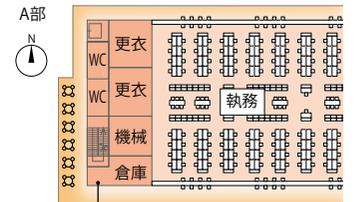
■メンテナンスの容易性

清掃は人件費のかかるプランコ作業ではなく、メンテナンスバルコニーを使用して容易に行える計画とする。「はなれ」の単独利用を可能とすることで、維持管理のコストを削減。

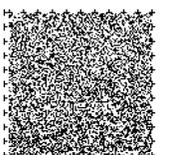
■外周廊下型による安定した温熱環境

「おもや」の窓際を人が滞りしない廊下・通路に使用し、温熱的に安定した建物内側に居室を配置することで温熱快適性と省エネルギーを両立。

執務スペースを中心に安定した温熱環境を形成



西側には壁量の多い部屋を配置
温熱負荷が大きいエリア (橙色)



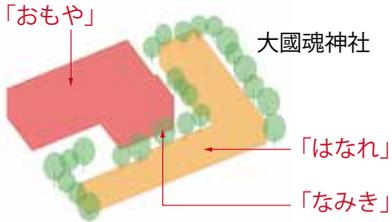
プロポータルにおける

提案内容の基本的な考え方

ケヤキに象徴される自然の美しさ、まちのあちらこちらに溢れ出る市民の活気、そして大國魂神社を始めとする数々の歴史的資産、これらの魅力を最大化する新庁舎を提案。

そこは、市民にとっても来訪者にとっても魅力的で誇らしい、府中の地でしか生み出し得ない庁舎となる。

■絡み合い補い合う3つの「L」



新しい庁舎は、3つの「L」が絡み合い、補い合っている。
 「おもや」: 庁舎の主たる機能を担う。
 「はなれ」: 庁舎機能を補完し、市民活動を支える。
 「なみき」: 府中の象徴でもあるケヤキの並木を延長する。

■広場としての「通り庭」、路地としての「通り庭」

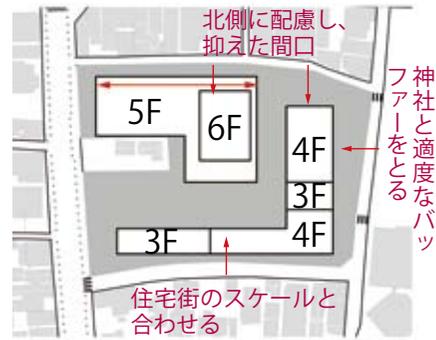
3つの「L」が絡み合って生まれる「通り庭」は、市民に開かれた広場であり路地。通勤で通り抜けたり、散歩の途中で休憩したり、祭りや市民活動の舞台になったり市場が開かれたりと、府中らしい多彩な活動が繰り広げられる場。そこは市民とともにある、自然と一体となった庁舎のシンボル空間。

「通り庭」は、軒の連なる空間。様々な市民活動スペースやラウンジが重なり合い、テラスや軒下空間をつくる。環境負荷低減に効果的な有孔パネルに覆われた外壁と軒下空間の連なる様は、さながら格子戸や看板、店先の連なる宿場町のような。店先で休憩したり隣人と会話を交わしたり、雨宿りをしたり。かつての府中宿を彷彿とさせる空間は、現在よみがえった新しい宿場町である。



「通り庭」のイメージ

■周辺環境に配慮したボリューム配置



周辺住宅地への影響を最小限に抑えた、穏やかなボリューム配置の庁舎とする。「おもや」のボリュームは基本5階建てに抑え、かつ壁面の長さも可能な限り短くし、特に北側住宅地への影響を最小限に抑える。大國魂神社側の「はなれ」は4階建てに抑えて引きを取り、地域の貴重な資産である神社との親和性に配慮した計画。



©Masao Nishikawa

模型写真(南側から)

建替計画の考え方

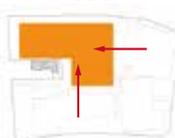
仮設庁舎のいらない合理的な建替計画



I 期工事

工事は2期で計画。
 1期工事では北側住宅地に十分配慮しつつも最大限の面積を確保し、基本的な庁舎機能を全て賄える計画。

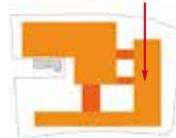
機能移転



既存解体

1期工事完了後に既存庁舎を解体し、2期工事に着手する。

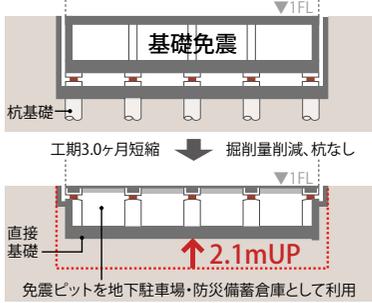
機能移転



II 期工事

2期工事完了後に第2庁舎機能や図書館機能などを移して完了。全体工期は48か月に抑えることができる。

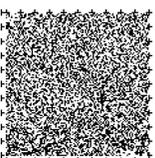
工期短縮に向けた取組



■掘削量の削減、杭が必要な直接基礎による工期短縮
 柱頭免震構造を採用し、免震ピットを駐車場などに有効利用して地下の掘削量を大幅に削減。また、低層建物で地下を1層に抑えることで、地表から出現している砂れき層を支持層とした直接基礎とする。

■利用者動線と工事車両動線が交錯しない安全な施工計画

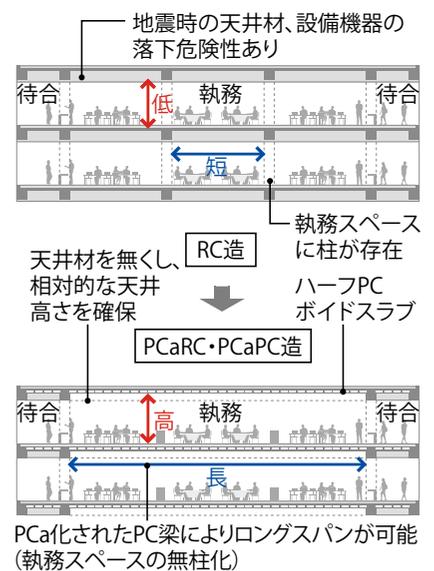
各工事では、工事車両動線を府中街道側にすることで、1期工事中の既存市庁舎利用者動線、2期工事中の1期市庁舎利用者動線と工事車両動線を明確に分離し、安全な施工計画とする。



■PCaRC・PCaPC造による工期短縮、労務リスクの削減

上部構造は高強度コンクリートを使用し、PCa化したRC、PC構造として耐久性・長寿命性を実現。ロングスパンによるフレキシビリティのある空間を確保するとともに、RC造に比べ工期短縮、工期安定化を図る。主要構造部をPCa化してコンクリート型枠工や鉄筋工の労務費が高止まりする中で工賃の縮減を図る。工場製作のPCa部材を現場で組みあわせることで粉塵、騒音を軽減し周辺環境に配慮。東京オリンピックを迎えるにあたり建設市場における鉄骨需要の高まりによる納期の遅れや建設費の高騰という鉄骨需要リスクを回避した計画とする。

PCa…プレキャスト
 RC…鉄筋コンクリート
 PC…プレストレスト・コンクリート



最優秀者に対する選定委員会の講評

庁舎機能が入る「おもや」と「はなれ」、そしてその間を貫通する通路「通り庭」により周辺の環境と取り結ぶ庁舎像を提案した案である。そのコンセプトは非常に明快であり、敷地の中にまちを持ち込むように分棟型の「はなれ」と「通り庭」を配置することにより建物の内部空間と半公共的なオープンスペースを連携させた都市デザイン的にも秀逸な案として高く評価された。「おもや」と「はなれ」の外観についても、少しずつ出ているところ、引っ込んでいるところがまちなみとしての表情をつくっており、上手なヒューマンスケールとなっている。

また、軒下空間、庇下空間として場所をうまく創るとともに歴史あるまち府中の特色を引き出しており、現代の宿場町としてのコンセプトが目を行っている。

「通り庭」については、広場をただの広場とするのではなく、府中駅と府中本町駅をつなぐ結節点として通り抜けられる空間とし、庁舎内の機能と建物内外の市民のアクティビティを両立させる巧みな仕掛けとなっており、また、比較的大きなオープンスペースとしても使うことができるので、災害時の拠点としての活用にも適した提案となっている。

他の案に比べると、今後設計を深化させ工事へと進む過程でコンセプトを崩さずに必要な変更に対応できる巧みな案であるとの意見もあった。

また、比較的高層の「おもや」を1期工事部分となる北側に配置することにより、仮設庁舎を用いることなく1回の引越しで庁舎機能を移転することが可能で、その後の工事も含めて優れた建替計画を提案している点を評価する意見が複数あった。さらに、構造についてもプレストキャストコンクリートの採用などを含めて検討されているため、工事費の見通しの付き難

い建替時期においてもコントロールし易い点を評価する意見もあった。本案はアトリエ系事務所と組織系事務所のチームによる提案であるが、今後のプロセスで双方の長所を活かした発展可能性を期待し評価する意見もあった。

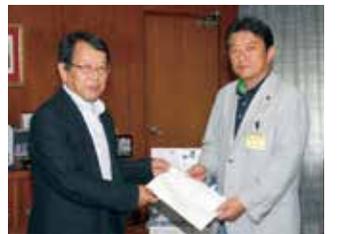
今後の課題としては、外装材の有孔パネルの素材や色彩について、周辺の景観との関係性への配慮が挙げられた。この点は、現提案の時点で詳細に議論することは時期尚早であり、今後設計が深化する段階でふさわしいものとなるよう検討することが求められる。また、「通り庭」にはけやきの植栽が提案されているが、その将来の生育などについても懸念が示され、樹種の選定や配置について更なる検討が必要であるとの指摘があった。これらの懸念は、今後の対話による設計の中で検討され、よりよい設計案へ発展させることが期待される。

府中市の、そしてこの場所にふさわしい庁舎となるよう市と協議し、よりよい案としてまとめられることを期待したい。

府中市新庁舎建設設計者選定委員会委員

(敬称略 五十音順)

委員長	倉田直道(工学院大学名誉教授)
副委員長	田中友章(明治大学教授)
委員	赤松佳珠子(法政大学准教授) 桑田 仁(芝浦工業大学教授) 吉野 誠(府中市副市長)



委員長から市長への答申

府中市新庁舎建設基本・実施設計委託に関する公募型プロポーザル審査報告書より抜粋。詳しくは市ホームページをご覧ください。

選定委員会の様子



1次審査の様子



公開プレゼンテーション会場の様子

選定委員会が行った1次審査では、審査会場に並べられた33者の提案書の前で、選定委員による活発な議論が行われました。

また、2次審査の一環として7月26日に開催した公開プレゼンテーションでは、322人の方にご来場いただき、新庁舎建設に対する関心の高さが示されました。

当日は、提案内容に基づいたプレゼンテーションに加え、新庁舎の模型を使用した、具体的で分かりやすい説明がされました。

また、会場には、今回提案のあった33者の提案書を展示し、特に2次審査でプレゼンテーションを行った5者の提案書は多くの方がご覧になりました。

新庁舎建設シンポジウムの開催

今回決まった設計者や市長などが新庁舎建設に向けた想いを伝えるため、シンポジウムを開催しますので、ぜひご来場ください。※当日は手話通訳があります。

- 日時 10月11日(日)
午前9時半～11時半(午前9時開場)
- 会場 ルミエール府中
- 定員 先着300人(事前申込不要)
- 内容
 - ①基調講演…プロポーザルでの提案内容をもとに、新庁舎の設計への想いをお伝えします。
講演者 上田克行氏、千葉学氏
 - ②パネルディスカッション…「市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎」を目指し、新庁舎建設に向けた考えや想いを語ります。
ファシリテーター 田中友章氏(選定委員会副委員長)
パネラー 上田克行氏、千葉学氏、倉田直道氏(選定委員会委員長)、高野律雄(府中市長)

今後のスケジュール

今後は、設計者とともに平成28年8月まで基本設計を行い、平成29年10月までに実施設計を完成させる予定です。

なお、建設工事などのスケジュールは、今回設計者から提案のあった内容に基づき建替計画を検討していくため、変更する可能性があります。その際には、改めて市民の皆さんにお知らせします。

- 設計作業 平成27年9月～平成29年10月
- 埋蔵文化財調査 平成28年度～平成30年度
- 建設工事 平成30年度～平成33年度

新庁舎建設キャラバン隊

新庁舎建設事業をより広く市民の皆さんに周知し、幅広い方々からご意見をいただくため、市職員によるキャラバン隊を結成し、夏から秋にかけて開催される市内のイベントで本事業のPRを行っています。右ののぼり旗が目印です。

今後の参加予定イベント

- 福祉まつり(10月17日(土)・18日(日))
- 府中リサイクルフェスタ(10月24日(土))
- 東京外国語大学学園祭(11月)



ご意見をお寄せください

現在行っている基本設計では、新庁舎の具体的な機能や構造について検討しています。

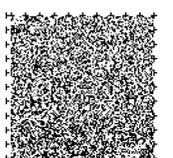
新庁舎に必要なと考える機能などについて、ご意見を募集します。いただいたご意見に対して個別に回答はしませんが、今後設計を進める中で参考にさせていただきます。

提出方法

住所・氏名・意見を記入し、郵送、FAX、Eメール、持参などでご提出ください。

提出・問合せ先

〒183-8703 府中市宮西町2の24
府中市役所政策総務部政策課庁舎建設担当
電話(335・4129) FAX(366・7752)
Eメール(chousya01@city.fuchu.tokyo.jp)



リクエスト調べ（H27.9.1現在）

＜図書＞（上位10位まで）

	書名	著者名	リクエスト数	所蔵数
1	火花	又吉 直樹	951	27
2	ラプラスの魔女	東野 圭吾	573	18
3	サラバ！ 上	西 加奈子	493	18
4	サラバ！ 下	西 加奈子	440	17
5	鹿の王 上 生き残った者	上橋 菜穂子	412	19
6	フランス人は10着しか服を持たない パリで学んだ”暮らしの質”を高める秘訣	ジェニファー・L. スコット	411	14
7	鹿の王 下 還って行く者	上橋 菜穂子	383	19
8	流	東山 彰良	325	11
9	リバーズ	湊 かなえ	312	12
10	あの家に暮らす四人の女	三浦 しをん	304	12

＜視聴覚 映像＞（上位10位まで）

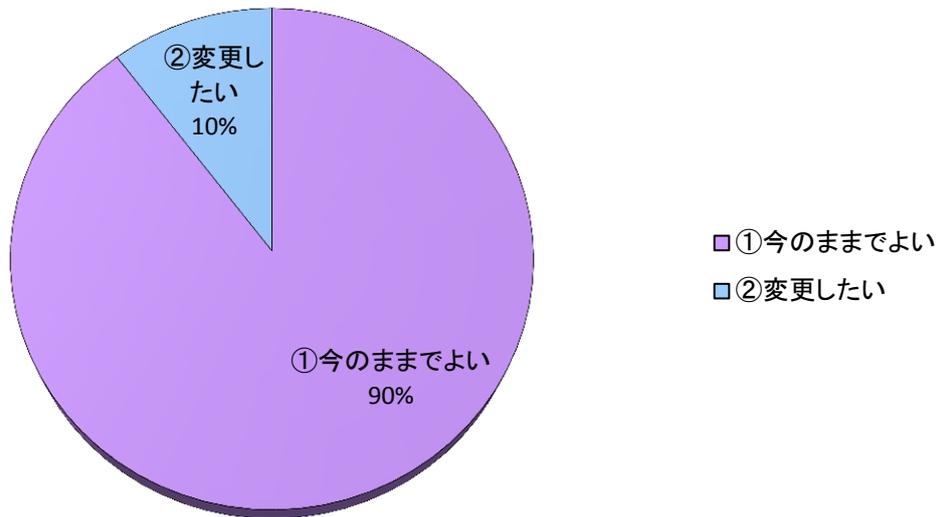
	作品名	監督等	リクエスト数	備考
1	アナと雪の女王	クリス・バック	158	DVD
2	レ・ミゼラブル	トム・フーパー	126	DVD
3	図書館戦争	佐藤 信介	112	DVD
4	英国王のスピーチ	トム・フーパー	106	DVD
5	塔の上のラプンツェル	ネイサン・グレノ	94	DVD
6	武士の家計簿	森田 芳光	64	DVD
7	カールじいさんの空飛ぶ家	PETE DOCTER	63	DVD
8	永遠の0	山崎 貴	62	DVD
9	リンカーン	スティーブン・スピルバーグ	58	DVD
10	ゼロ・グラビティ	アルフォンソ・キュアロン	56	DVD

＜視聴覚 音楽＞（上位10位まで）

	作品名	演奏者等	リクエスト数	備考
1	いきものばかり メンバーズBESTセレクション	いきものがかり	138	CD
2	日本の恋と、ユーミンと。松任谷由実40 周年記念ベストアルバム	松任谷 由実	125	CD
3	YUZU YOU 2006-2011	ゆず	70	CD
4	Superfly BEST	Superfly	69	CD
5	アナと雪の女王 オリジナル・サウンドトラック	クリステン・ベル	58	CD
6	LOVE THE WORLD Perfume Global Compilation	Perfume	52	CD
7	THE BEST BANG!!	福山 雅治	50	CD
8	ファンキーモンキーベイビーズLAST BEST	FUNKY MONKEY BABYS	50	CD
9	5×10 All the BEST!1999-2009	嵐	48	CD
10	MR.CHILDREN 2005-2010 MACRO	MR.CHILDREN	47	CD
10	オーパス オールタイム・ベスト 1975-2012	山下 達郎	47	CD

予約の取置期間について

1. 現在、取置期間は10日間ですが、いかがですか。



2. 変更するとしたら、どの期間がよいですか。

